

第十三回 貴族院商法修正案委員會速記錄第二號

明治三十二年一月二十日(金曜日)午前十時二十七分開會

○委員長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ開會致シマス

○政府委員(梅謙次郎君) チヨット初ニ正誤致シマシタ部分ヲ説明致シタウ

ゴザイマス、此間正誤ノ書付ヲ御手許へ廻ハシテアル積デゴザイマスガ三箇所正誤ガアリマスルデ之ヲチヨット説明致シマス、第百六十三條ノ第一項デゴザイマス、唯少シ文章ヲ他ト揃ヘルノガ一ツ落チテ居マシタ「總會招集ノ手續又ハ其決議ノ方法ガ法令又ハ定款ニ反スルトキハ」ノ下ガ「裁判所ハ」ノ四字ガ削レマシテ「株主ノ」ト云フノガ「株主ハ」ニナリマシテ「請求ニ因リ」ガ消ヘマシテ「其決議ノ無効ヲ」トアルノガ「無効ノ」トナルノデス、「宣告」ノ下ニ「ヲ裁判所ニ請求」ト云フ七字這入リマス、意味ハ少シモ變ハリマセヌノデスガ、他ノ部分ト文章ヲ揃ヘマスノデ、整理ノ際ニ一ツ見落シマシタ、例ヘバ是同シヤウナ文章ガ第二百三十一條ニアリマス、ソレ等ト文體ヲ揃ヘマスノガ洩レテ居リマシタ、ソレカラ今一ツハ第百八十一條ノ「事業ノ報告」トアリマスノガ、是ハ「營業ノ報告」デアリマス、此間説明シタ通り皆營業報告書ト云フコトニ書改メマシタガ是レ丈ケ一ツ洩レテ居リマシタノデス、今一ツハ活字ガ一ツ抜ケテ居リマス、第四百六十八條ノ一項デアリマス、其所ニ「署名ス」ノ下ガ空白ニナッテ居リマス、彼所ニ「ル」ノ字ガ這入ルノデアリマス

○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデハ是ヨリ逐條ノ質問ニ移リマス、第一條カラ第三條マデ……

○委員長(侯爵黑田長成君) 御質問ガゴザイマセヌケレバ第四條カラ第十五條マデ……

○辻新次君 私ハドノ箇條デモ宜シウゴザイマスガ、第五條ニモアリ第七條ニモ第十條ニモアリマスガ、第五條デ申シマス「未成年者又ハ妻ガ商業ヲ營ムトキハ登記ヲナスコトヲ要ス」此「要ス」ト云フ字ノ明カナ解釋ヲ御聽申シテ置キタイ、固ヨリ要スダカラシテ字ノ如シト云フ御答モアラウカ知リマセヌガ、所ニ依ルト餘程輕イ所ト餘程重イ所ガアルヤウニ私ノ讀ミマス上デハ感シマスノデス、ドウモセシケレバナラヌト云ウヤウナ意味ノ所ト輕イヤウニ見ヘル所トガアリマスガ少シク明カナ御説明ヲドノ箇條デモ宜シウガ

○政府委員(梅謙次郎君) 此「要ス」ト云フ文字ハ既ニ兩院ヲ通過シテ施行セラレテ居ル民法中ニモ澤山使フテアッテ其民法ノ用例ト商法ノ用例ト全ク同一デアリマス、誠ニ辻サシノ御説ノ通りニ同ジク「要ス」ト申シテモ大變ニ輕重ノアル處ガアリマス、平ツタク申シマス何ニスベキモノデアアル云フ意味デ何時モ「要ス」ト云フ字ハ使フテアル、スベキモノデアルト云フノニ

直接ノ制裁ノナイ場合モアリ又エライ直接ノ制裁ノアル場合モアリマスガツレハ規定ノ性質ニ依リ殊ニ他ノ規定トノ關聯カラ皆明カナッテ居ル積リデアリマス、御承知ノ通りニ民事訴訟法ニハ「要ス」ト云フ場合ト「ヘシ」ト云フ場合ト二ツアリマスガ、舊トハ「要ス」ト云フ方ハ若シツレヲシナケレバ無効デアルト云フ意味ノ所ヘ使イ、「ヘシ」ト云フ方ハサウスベキモノデアアル、シナカッタ所デツレガタメニ例ヘバ當事者ガ權利ヲ失フトカ又ハ裁判官ノ方カラ云フト懲戒處分ヲ受ケルコトガアルカモ知レヌト云フヤウナ間接ノ制裁シカナイモノ、方ハマア「ヘシ」ト書クト云フコトデ使ヒ分ケタデアルサウデスガ實際ハツレガハツキリト現ハレテ居リマセヌ「ヘシ」トアッテモ無効ノ制裁ノ付イテ居ル規定モアリ「要ス」トアッテ其制裁ノ付シテナイ規定モアリ、日本ノ言葉デ之ヲ一々書分ケルト云フコトハ餘程困難デアリマス、併ナガラ民事訴訟法ノ如キ手續法ニ至ッテハ詰リ制裁ガ一ハ無効ノ制裁一ハ無効ト云フコトデモナイ云ハハ間接ノ制裁ノミデアルト云フヤウナ區別ガシテ出來ヌコトハナイケレドモ實體法ナル所ノ民法商法ニ至ッテハ場合ガ實ニ千差萬別デアリマスルカラドノ場合ニハ「要ス」ト云フ字ヲ用井ドノ場合ニハ「ヘシ」ト云フ字ヲ用井ルト云フコトヲ使ヒ分ケルニ餘程困難デアリマス、始メ法典調査會デハ場合ニ依リテ「ヘシ」ト云フ場合ニ依ッテ「要ス」ト云フ、ト云フヤウニ書分ケテ見マシタガ段々煎ジ詰メテ見ルトハウモハツキリトシタ區別ガ出來マセヌノデ同ジク法律上斯ウスベキモノト云フ意味デアアルノニハツキリトシタ區別ヲスルコトノ出來ヌニモ拘ラズ或ハ「要ス」ト書キ、或ハ「ヘシ」ト書イテハ却テ後來感ガ起リマスカラ制裁ノ輕重ニ拘ラズ免ニ角ナスベキモノデアルト云フコトハ「要ス」ト書カウト云フノデ民法モ商法モ「要ス」ト書キマシタ、御承知ノ通りツレヲシナケレバ事柄ガ無効ニナルトカ直ニ科料ニ處セラル、トカ云フヤウナ事柄ノミデハナイ、丁度今御引キニナッテ第五條第七條ノ如キハ是ハ登記スベキモノデアルト云フコトヲ極メタニ過ギヌ、登記セヌデモ直ニ罰ガアルト云フ譯デハナイガ、ツレヲセヌト本人ノ不利益トナル後見人ノ場合ノ如キハ被後見人ニ對シテ責任ヲ負ハネバナラヌト云フダケノ制裁デアアル、後ノ十條ノ規定ノ制裁モ矢張り次ノ第十二條アタリニ間接ノ制裁ガアリマスガ、ソレダケノコトデアリマシテ直接ノ制裁ト云フモノハ殆ドナイノデアリマスケレドモサウ云フノハ總テ「要ス」ト書ク文例ニナッテ居リマス

○名村泰藏君 九條ノ營業所ノ裁判所ニ備ヘタル此裁判所ハ地方裁判所ノ御積リデアリマスカ又ハ區裁判所ノ御積リデゴザイマスガ、チヨット承リタイ

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ既ニ其法律ト相成リマシタル非訟事件手續法ニ規定ガアリマス、非訟事件手續法ノ第三百二十九條ノ「商法ノ規定ニ依リテ

登記ノ申請ヲ爲ス者ノ營業所所在地ノ區裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス」トアリマス、區裁判所デアリマス

○菊池長四郎君 第八條ニ「戸口ニ就キ又ハ道路ニ於テ物ヲ賣買スル者其他小商人ニハ商業登記及ヒ商業帳簿ニ關スル規定ヲ適用セス」トアリマシテ是ハ分リマシタガ、此小商人ハドウ云フ所ノ區別ヲ立テテ小商人ト云フコトガ出マスカ一應説明ヲ願ヒマス

○政府委員(田部芳君) 此小商人ト云フモノノ範圍ヲ極メマスコトハ隨分實際困難デアリマス、何レ或標準、例ヘバ營業稅ノ如キ……ハツキリトハ分リマセヌガ營業稅ノ如キ或標準ヲ以テ斯ウ云フ者以下ヲ小商人トスルト云フコトモ極メナケレバナラヌデアリマスカラ、此點ニ付キマシテハ商法施行ノ中ニ一ツ規定ヲ置キマシテ何レ命令ヲ以テ尙ホ其コトヲ詳シク極メルト云フノ趣意デアリマス

○三浦安君 唯今ノ名村君ノ御尋ニ依テ政府委員カラ要スノ字ニ付テ詳細ノ辯明ガアリマシタケレドモ私ハ畢竟時々ノ流行言葉ト思フ、以前ハ何ミスルモノトストカ、スベキモノトストカ「モノトス」ト云フコトガ「要ス」ニ變テ、ドウモ日本人ガ支那語ヲ通用スル様デ甚ダ不十分デアリマス同ジ要スト云フ中ニモ制裁ガアリ制裁ガナイノガアツテオカシイ、又他日モウ一步進ンデ流行ガ能クナツテ來タラ制裁ノアルモノハ要ス制裁ノナイモノハスベキモノトスト云フ様ナ區別ガ出來ラウ、エライ大キナ理由ハナイト思ヒマス、其位ノコトデ私モ法典調査會デ默ッテ居リマシタ、一言申シテ置キマス、時時ノ流行言葉位ノモノト思ヒマス

○名村泰藏君 今三浦君ハ私ノ質問ト仰ッシヤイマシタガ全ク辻君トノ御間違ト思ヒマス

○三浦安君 左様デゴザイマシタ

○渡邊洪基君 未成年者又ハ妻ガ商業ヲ營ムトキハ登記ヲナスコトヲ要ストアリマスガ、此場合ハ何モ制裁ハナイデアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 直接ノ制裁ハナイノデス、併ナガラ斯ウ云フコトニ極リマスカラ登記ヲ致シマセスト云フト世ノ人ガ信用シテ取引ヲセヌト云フコトニナリマス、未成年者ヤ妻ハ無能力者デアルト云フノハ本則デアリマス、ソレハ民法ニ從ヒマシテ後見人ナリ夫ナリノ許可ヲ受ケマシテ商業ヲ營ミマス、ケレドモ其許可ヲ得タルヤ否ヤト云フコトハ登記ヲシタ上デナケレバ第三者ニ分リマセヌ、ソレデ自ラ制裁ガアルト云フ積リデ、直接ノ制裁ハ付シマセヌ

○渡邊洪基君 サウシマススト其商行爲ガ無効ニナルコトガアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 登記ガシテナイカラ無効ニナルト云フコトハナイデアリマス、ケレドモ若シ許可ヲ得ナイデ商業ヲ營ムト後カラ取消セマス、ソレデ登記ヲシテナイ未成年者ヤ妻ト商業上取引ヲ致シマスト其者ノ後見人ナリ夫ナリノ許可ヲ得ズニヤツテ居ルカモ分リマセヌ、ソコデ何時取消サル

ルカ知レヌト云フ懸念ガアルカラ第三者ハ取引ヲシナイコトニナル、ソレデ登記ヲシナケレバナラヌコトニナリマス

○委員長(侯爵黒田長成君) ソレデハ次ニ移リマス、第十六條カラ第二十八條マデ……

○辻新次君 チョット御尋シタイノデゴザイマスガ、私ハタシカ前回ノ時ニモ此コトハチヨット案シタ上カラ御尋シタ様ニ覺エテ居リマスガモウ一ツ承ツテ置キタイ、此第十九條デスドノ箇條デモ同ジコトデスガ「他人ガ登記シタル商號ハ同市町村內ニ於テ同一ノ營業ノ爲メニ之ヲ登記スルコトヲ得ス」市町村ト申シマスルト云フト無論エライヤツモ小サイヤツモアリマス、即チ東京ノ如キ、同市デアリマスガ、實際我々ガ見テ居ル所デモ之ヲ東京市ノ如キニ於テビタリト別ケヤウト思ヒマスレバ隨分困難ガアラウト思ヒマスノデスガ、總テ市ト書イデアリマスカラ東京市ノ様ナ市モサウデセウシ例ヘバ四日市ノ如キ市モ同一デアリマスガ是ハ餘程實際ノ有様モ御調べニナツタコトデアリマセウガ事實差支ハ起ラヌデセウカ

○政府委員(梅謙次郎君) チョット唯今辻君ノ仰セニナツタ様ナ理由ガアリマスノデ、商法ニハ細ミシイコトヲ書ク譯ニハ行キマセヌ唯市町村トシテ置キマシテ、商法施行法ヲ以チマシテ東京ト京都大阪ノ三市ダケハ各區ヲ以テ市町村ニ準ズルモノトスル、斯ウ云フコトニ極メマス積リデ既ニ議會ニ提出シタ所ノ商法施行法案第九條ニ此規定ガアツタ位デアリマス、今度モソレト同ジ様ノ規定ヲ施行法ニ入レマス積リデアリマス、他ノ市ハ成ル程稍大キイ市モ外ニアリマセウケレドモドウモ何處マデヲ特別ニ取扱フカト云フコトノ定メ方ハ困難デアリマスカラ差向キ三府ダケト云フコトニ致シマシタ

○名村泰藏君 此二十五條ハ此前モ御尋シタカト思ヒマスガ能ク覺エマセヌガ、二十五條ハ帳簿ヲ備ヘルト云フコトニナツテ居リマスガ、帳簿ヲ備ヘタバカリデハ行ケマスマイガ是ハ何處カデ檢閱スルト云フコトガ必要デアラウカト思ヒマスガ、其手續ハ茲ニ明文ガ見エマセヌガドシナ都合ニナリマス

○政府委員(田部芳君) 帳簿ノ規定ハ隨分國ニ依リマススト細イコトマデ規定シテ居ルノガアリマスケレドモ隨分日本デ今新ニ商法ヲ施行スルニ付テ舊商法ハ幾ラカ施行ニナリマシタガ、餘リ細密ナ規定ヲ設ケテハ實際行ハレ難イデアラウト云フコトヲ考ヘマシテ此修正案ニ於キマシテハ帳簿ニ關スル規定ハ餘程簡單ニ致シテアルノデス、又唯今御尋ニナリマシタ調ベヲスルトカ云フコトハ別ニナイノデスケレドモ此帳簿ニ就キマシテ間接ニ制裁ガアル、ソレハドウ云フコトカト云フト若シ此法律ニ規定シテアル通ニ帳簿ヲ備置カズ又帳簿ヲ此法律ニ規定シテアル通り整然且明瞭ニ記載シテナイトキハ若シ破産ニデモナリマシタ時ハ破産ノ時ニ或ハ制裁ガアリマシテ其事ハ破産法デ……現行法ニモアリマスガ改正セラルベキ破産法ニ其規定ヲ設ケラレナケレバナラヌト思ヒマス、其方ニ制裁ガアリマス

○名村泰藏君 ソレデハ此帳簿ト云フコトハ銘々ノ好キニ措ヘテサウシテ帳

簿ニ日々ノ出入ヲサヘ書イテ置ケバ宜イト云フノデアリマス、又丁度佛蘭西アタリデハ帳簿ヲ拵ヘテ檢印ヲ受ケルト云フコトガアル、サウ云フコトハシナイノデアリマス。

○政府委員(田部芳君) ソレヲノコトヲ間接ニ先キニ申上ゲタヤウナ意味ノ積デアリマシタ、例ヘバ檢印ヲシテ貫フコトハ此修正案デハ極メテナイ私ニ作ッタ帳簿ノ備ヘ方其書キ方ハ此法案ニ表ハレテ居ルダケガアレバ宜イト謂ハナケレバナラヌ、別段裁判所ニ出シテ檢印ヲシテ貫フナド、云フヤウナ手續ハナイノデアリマス。

○辻新次君 此第二十六條ノ末項ニアリマス「財産目録ニハ動産不動産債權其他ノ財産ニ其目録調製ノ時ニ於ケル價格ヲ附スルコトヲ要ス」是ハ現在ノコトハ私ハ能ク存シテ居リマセヌガ聞ク所ニ據レバ大キナ會社デモ不動産、此不動産ト云フコトニモ色々アリマセウガ悉ク價格ナドガ今日ノ有様デハ附シテナイヤウニ承ツテ居リマス、所ガ現在ノ法律ニハ斯ウ云フコトハシテアリマセヌノデアリマスガ、今度此商法ガ出ルカラ斯ウ云フコトガ新シク這入込シテ居リマスガ果シテ這入レバ若シ此價格ヲ附シテ置カヌトキノ場合ニハドウ云フコトニナリマス、私ハ現在ノ法律ハ能ク知リマセヌカラ此所マデ往ツテ居ルカ、居ラヌカ分リマセヌシ、所デ實際ハ悉ク價格ヲ附シテ居ラヌ……物品ナドニモ價格ヲ附シテ居ラヌモノガアルヤウニ承ツテ居リマス、カシテチヨット其邊ヲ御聽申シテ置キタイ、モウ一ツハ此第二十八條デス、是ハドウモ前會ニ於テモ少シ十年間ト云フコトガドウカト思ヒマシタガドウモ十年間デナケレバナラヌト云フコトハドウカト一番重イ所デドウ云フ所デ十年間ハ置カナケレバナラヌカ、五年デハイカヌ七年デモイカヌドウシテモ營業ニ關スル帳簿手紙ノ如キモノハ必ズ十年間保存シテ置カネバナラヌト云フ所ノ極ク強イ所ハドウモ邊ニアリマス、十年ニ極メタノハ……

○政府委員(田部芳君) 第二十六條ノ第二項ニ就テノ御尋デアリマスガ是ハ私カラ申上ゲルマデモナク昨年七月カラシテ此案ナドニ對シテ言ヒマスレバ現行ノ商法ガ行ハレテ居リマスルカラシテ第三十二條ニ依テ財産ニ價格ヲ附シテナヤウニ承ツテ居リマス、其以前ト雖モ私共ガ實際ノコトハ能ク知リマセヌガ會社カ何カニ於キマシテハ無論ヤツテ居リマシタガ一個人ノ商人ニ付キマシテハ商法ノ全體ガ行ハレテ居リマセヌカラ是等ノ規定ハ無論ナカッタノデアリマス、併シ昨年ノ七月以後カラハ一個ノ商人デアルト或ハ會社デアルトヲ問ハズ現行ノ商法ノ規定ニ依テナラナケレバナラヌ、又實際サウヤツテ居ルダラウト思フ實際ノ調ベハシテ居リマセヌガ、サウアルベキデアラウト思フ。

○辻新次君 唯今ノハ制裁ハアリマセヌカ

○政府委員(田部芳君) 制裁ハ破産ヤ何カニ付テ間接ノ制裁ガアルヤウデアリマス、ソレカラ此十年ト云フコトハ別ニ是ト云フキツパリシタモノハドウモセ斯ウ云フモノニ付テハアリマセヌ、併シ先ヅ十年位經タネバ總テノ取引ノ

結了ト云フモノガ或ハ十年間位ハ爭ヒガ起リ得ベキデアルカラ十年モ保存シタラ宜カラウト云フノデアリマス、大抵ノ外國ノ商法ニ於キマシテモ帳簿ノ保存ト云フモノハ殆ト一定シテ居ルヤウデアリマスカラソレヲニ據リマシテ十年ト致シマシタ。

○渡邊洪基君 此帳簿デゴザイマス「商人ハ十年間其商業帳簿及其營業ニ關スル信書ヲ保存スルコトヲ要ス」トアリマスガ今ノ商人ト云フコトハ別ニ定義ハ第一編ニアリマスルケレドモ文字デ見ルト云フト此會社ノ取締役トカ社長トカ云フ者ハ銀行ノ取締役即チ我々、是ハ今商人ノ中ニ這入ッテ居ッテ色々ノ商業會議所トカ色々ノナモノニナルノデ此等ハ今度ドウナルノデスカ、帳簿ノヤウナコトニシテモ随分ムヅカシイモノデスカドウデス。

○政府委員(田部芳君) 此修正案ノ四條ニ商人ト云フモノハドウ云フモノデアアルカト云フコトヲ極メテアリマス、此商行爲ハドウ云フモノデアアルカト云フコトハ第二十六條以下ニ商行爲ノ何物タルコトヲ規定シテナリマス、ソレデ先ヅ分ル譯デアリマス、此商法ノ上カラ申シマスルト會社ノ取締役トカ云フモノハ是ハ商行爲ヲ自身デ取引スルモノデナク會社ノ爲ニ働クモノデアアル、即チ商法ニ申シマスル商人デナイノデゴザイマス、唯商業會議所ノ如キハ商人ノ如クシテアルモノハソレハ特別法デ或ル事柄ニ付テ商人ト同ジニ法律デ取扱ッテ居ルト言フニ過ギナイダラウト思ヒマス。

○政府委員(岡野敬次郎君) チヨット辻サンノ御尋デアリマスガ第二十六條ノ第二項ニ「價格ヲ附スルコトヲ要ス」ト云フコトニ付テ御質問デゴザイマスガ實際會社デハ此現行法第三十二條ニ言フガ如ク法律ノ必要トスル價格ヲ附シテ居ルカドウカ實際ニ於テハ多少會社ニ依テ違ヒガアラウト思フノデス、兎ニ角價格ヲ附スルト言ヘバ財産目録モ出來ズ貸借對照表モ出來ズ、其結果ハドウナルカト申シマスルト此事業年度ノ終ニ於テ果シテ會社ノ損ヲシタノデアアルカ、或ハ利益ヲ得タノデアアルカ、又會社ニ於テ配當ヲ爲スベキモノデアアルカ否ヤト云フ計算ガ立タナイカラ是非價格ト云フモノヲ附サヌケレバ到底會社ノ營業ト云フモノガ出來ル筈ハナイ、或ハ價格ノ見積方ニ依ッテ其標準ハ會社ニ依テ異ッテ居ル所ガアルカモ知レマセヌガ是ナシデハ二十六年ノ七月以來決シテ營業ノ出來ルモノデナイ、又配當ノ出來ル筈モナイノデ、ソレカラ唯今ノ渡邊サンノ御尋デアリマスガ商業會議所條例ニハ「商業者」ト云フ字ガ使ッテアツテ「商人」トハ言ッテ居リマセヌ、或ハ商業者ト商人ト混同サレルヤウナコトニナツテハ困ル、又或ハ他ノ特別法ヲ以テ同ジ「商人」ト云フ文字ヲ使ッテ違ッテ意味ヲ付スルト云フコトモナイトハ限リマセヌ、故ニ第四條ニ「本法ニ於テ商人トハ自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ」ト定義ヲ舉ゲテ其意味ヲ明ニシタノデアリマス。

○委員長(侯爵黑田長成君) 第二十九條ヨリ第四十一條マデ……

○男爵南岩倉具威君 第三十二條ノ第三項ニ「前項ニ定メタル權利ハ主人カ其行爲ヲ知リタル時ヨリ二週間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス行爲ノ時ヨリ一年

ヲ經過シタルトキ亦同シ、此二週間ト云フ期間ト一年ト云フ期間ヲ御定メニ
ナツタ標準ハ何レニアリマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 期間ハ總テマア云ハバ腰矯メデアリマシテ、何故
一年デナクテハナラヌカ六箇月デ宜クハナイカ或ハ二年ガ宜クハナイカト云
フコトハ人々ノ考デ變リ得ルデアリマセウガ、要スルニ此權利ハ莫大ナル權
利デアリマスカラ餘リ之ヲ長ク存シテ置キマシテハ大變取引上差支ガ多イノ
デ成ルベク早ク行ハシメヤウ、早ク行ハネバモウ此權利ハ行ハシメナイト云
フ立法ノ精神デアリマス、先ヅ主人ガ斯ウ云フ行爲ヲシタサウダト云フコト
ヲ知リマシタナラバ二週間モ猶豫ヲ與ヘテ置ケバ其中ニ本條第二項ニ依ッテ
支配人ノ爲シタル行爲ヲ自己ノ行爲ノ如クニ見做シタ方ガ利益デアアルヤ否ヤ
ト云フコトヲ主人ノ方デ十分ニ考ヘル暇ガアルデアラウ、ソレヨリ長ク此權
利ヲ存シ置ク必要ハナカラウ、又主人ガ知ラナイデ居ッテモ一年モ經ッテ後ニ
既ニ甲ノタメニ爲シタル行爲トシテ成立ッテ居ルモノヲ今度ハ乙ト云フ主人
ノタメニ爲シタル行爲ト見做スト云フヤウナコトハ取引上非常ニ困難ナル結
果ヲ惹起スコトガゴザイマスデソレデアラウ短カイ期間ト云フノデアリマス、
ケレドモ主人ノ知ラナイトキニハ餘リ短カクシテ置イテモイカスカラマア一
年ト云フ標準ハ至ッテ漠然タルコトデアリマスガ詰リ短カイ期間ト云フノガ
趣意デアリマス

○男爵南岩倉具威君 尙伺ヒマスガ何レ外國ノ例ヲ御調ベニナツタコトデア
リマセウガソレ等ハドウナツテ居リマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 外國ノ例ハ確カニドノ位ノ長サノ期間デアツタ
カト云フコトハ記憶シテ居リマセウガ、此三十二條ノ第二項第三項ニ定メテ
アルヤウナ規定ト云フモノハ獨逸ノ商法ソレカラ獨逸ノ商法ヲ真似タ國ノ
商法ニハアリマスガ餘リ澤山ハナイノデ、私ノ記憶シテ居ル所ニ依レバ此二
週間ト云フ所ハ獨逸ノ商法ニハ確カ六箇月ニナツテ居ッタカト思ヒマス、之ヲ
何故二週間ニシタカト云フト其理由ハ先刻梅委員カラ申上ゲタ通りデアリマ
スガ、御承知ノ如ク第三十二條ノ第一項ニ於キマシテハ支配人ノ主人ニ對ス
ル義務ガ定メデアリマス、此義務ニ違反シタ場合ニハ主人カラハ支配人ニ對
シテ無論制裁ガアツテ若シ損害ガアツタナラバ其賠償ヲ請求スルコトガ出來
ルノデ第二項第三項ト云フモノハ特例ヲ設ケタノデ、支配人ガ第一項ノ規定
ニ反シテ自己ノタメニ商行為ヲ爲シタルタメニ其行爲ニ依ッテ得タル利益ヲ
主人ノモノニスルトカ或ハ又第三者ト結ンダ契約ガ未ダ履行セラレヌ場合ニ
ハ支配人ノ第三者ニ對スル權利ノ讓渡ヲ主人ガ請求スルニ過キヌノデ、假令
此三項ニ定メタル權利ガ消滅シテモ損害賠償ノ義務ハ負ハヌト云フコトニ
ナツテ居リマス、ソレデ此行爲ニ依ッテ生ジタ利益ヲ請求スルトカ或ハ又支
配人ガ第三者ニ對シテ結ンダ所ノ契約ノ權利ノ讓渡ヲ請求スルト云フヤウナ
コトハ長ク打遣ッテ置クト啻ニ支配人ノタメニ不利益デアアルノミナラズ第三
者ガ其結果デ損害ヲ被ムルコトモアリ得ルコトデ、又此ノ如キ例外ノ權利ヲ

行フニ就テサウ長イ期間ヲ置ク必要ハナカラウト云フノデ此ノ如ク規定イタ
シマシタ

○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデハ第四十二條カラ第六十七條マデ……
○辻新次君 私ハ此第四十九條デ一ツ御尋ネヲシタイ「合名會社ヲ設立スル
ニハ定款ヲ作ルコトヲ要ス」トアリマス、ソレデ此商法デアルト合名會社モ
ソレカラ株式會社ノ如キモ皆定款ヲ作ルコトニ極メラレテ居ルヤウニ見ヘマ
ス、所デ現在ノ所ハドウカト云フト私共ノ見テ居ル所デハ餘程此合名會社ト
株式會社トハ違ッテ居ル、固ヨリ此商法デモ色々條項モ多少違ッテ居リマスガ、
餘程今度ハ同ジヤウニ見ヘル、ソレデ合名會社ナドハ定款ナドヲ作ッテ居ル
モノハ少ナイヤウニ私ノ見ル所デハ見ヘマス或ハ規約トカ約束トカ云フヤウ
ナコトデヤツテ居ル、ソレカラ登記所デモ株式會社ノ定款ヲ登記スルノトハ
餘程其趣ヲ異ニシテ居ッテ何モ内證ニスルト云フデモナイデアラウガ、ヤタ
ラニソレヲ公ケニセヌヤウニ登記所ニ他ノ者ガ往ッテモソレヲ公ケニセヌト
云フヤウナコトデ幾分カ趣ヲ異ニシテ居ルヤウデアリマスガ、今度ハサウ云
フコトニハ更ニ區別ナク同ジ合名會社ノ定款株式會社ノ定款ト云フモノニ就
テ此所ニ掲ケテアル事項ノ如キモノハ登記所ニモ置キ又世間ニ對スル所ニ
モ……今迄ノ所デモ公ケニセヌト云フデモナイガ、合名會社ノ如キハ凡ソ版
ニモシテ置カヌト云フヤウナコトデ餘程株式會社ノ定款トハ趣ガ違ッテ居ル
ヤウデアリマスガソナ邊ハ今度ハドウナリマスカ、矢張り今日ノ株式會社
ノ定款ト云フ様ナ御取扱ニナルノデスカ、一應御聞キ申シタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御説ノ如ク今日デハ合名會社ニアリマシテハ定
款ト云フ文字ハ遺ッテアリマセウ、現行法ノ第七十七條ニ於テ其他ノ個條デモ
或ハ會社契約ヲ定メ或ハ契約書ト云フコトガ常ニ法文ニ見ヘテ居リマス、此
修正案ニ依リマスル定款ト云フモノハ矢張り合名會社ノ契約書ト云フモノニ
當ルノデアリマス、何故契約書ト申サヌカト申シマス乎此修正案ニ於キマシ
テハ現行法ト同ジ様ニ商事會社ト云フモノハ悉ク法人トシタノデアリマス、
法人ト申シマスレバ即チ合名會社ト社員ト云フモノカラ獨立シテ法律上ノ生
存ヲ持テ居ルノデアリマス、ソコデ其契約ト稱シ或ハ定款ト稱スルモノハ
ドウ云フ性質ノモノデアアルカト云ヘバ即チ會社ガ實際ノ運用ヲナスニ付テ其
契約書ト稱シ又ハ定款ト稱スルモノニ定メテアル所ニ依ラナケレバナラヌ、
斯ウ云フモノデ其結果固ヨリ社員ト社員トノ間ノ關係ヲ極メラコトモアリ、
或ハ社員ト第三者ノ間ノ關係ヲ極メラコトモアリマスルガ其理窟ノ上カラ申
シマスルト其定款或ハ契約書ト稱スルモノハ社員相互ノ契約書ト稱スルヨリ
ハ矢張り法人ナル會社ガ其書面デ定メル所ニ從ッテ運動シナケレバナラヌト
云フ標準ヲ極メラテ居リマスデアリマスカラ其性質ノ上カラ申シマスレバ株式
會社ノ定款ニシテモ又合名會社ノ契約書ニシテモ更ニ違ウコトハナイノデゴ
ザイマス、外國ナドデモ契約書ト云フ文字ヲ用井テ或ハ是ヲ合名會社ノ側ニ
用イ或ハ又甚シキ場合ニ至ッテハ株式會社ニ契約書ト云フ文字ヲ用井テ居ル

例モアリマス、併ナガラツレハマダ其會社ノ法人ト云フ觀念トツレカラ法人ノ中ニアル所ノ社員相互ノ契約書デアルト云フノ觀念ガ明カニ區別セラレナカッタ時代ノ思想ガ幾分今日マデ殘ツテ居ルメデアル、ツレデ理屈カラ申セバ外國ノ學者ナドモ一般ニ認メテ居ルノデアリマシテ矢張り名ハ契約書デアルケレドモ其性質ニ至ッテハ株式會社ノ定款ト異ナルコトハ無イ、此點ニ付テハ一向異論ハ無イノデアリマス、ツレデ此修正案デ云フ所ノ定款ト云フモノハ此修正案ガ行ハレタ其後ニ於キマシテモ合名會社ヲ造ルニハ必ズ定款ノ文字ヲ用井テ造ラナケレバナラヌト云フコトヲ意味スルノデハ無イノデアリマスカラ或ハ契約書ト申サウガ契約ト申サウガ法律ノ第五十條ニ定メテアル事項サヘ契約書ニ掲ゲテアレバ名ノ如何ハ法律デバ問ハナイ、其場合契約書ト云ヒ或ハ規約ト云フモ法律ニ依ッテ定款ト見做スト云フニ過ギナイ、性質スノ如クナルヲ以テ或ハ登記事項ノ異ナルガ故ニ他ノ現行法ト修正案ト異ナルコトガアルカモ知レマセヌガ其他別段ニ酷ク現行法ト違ッタ合名會社ト云フモノハ世間ニ公ケニスベキモノデアルト云フ様ナコトニハナラヌノデアリマス

○子爵入江爲守君 五十一條ノ末項デアリマスガ是ハ本店又ハ支店ト同一ノ管轄内デアレバ支店ヲ設ケタルトキハ本店又支店ノ兩方カラ登記シナイデ孰レカノ一方デアレバ宜イト云フノデアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) サウ云フ積リデハ無イノデス、此修正案ノ趣意ハ本店ノ登記所ニ參リマスドコニ支店ガアルト云フコトガ悉ク分ル、ツレカラ又ドコノ支店ノ登記所ニ參リマシテモ其登記簿ヲ見マスト其支店ノ本店ハドコニアル、而シテ其會社ハドコニ支店ヲ持ッテ居ルカト云フコトガ分ル様ニシタノデアリマス、五十一條ノ唯今御尋ノ第三項デアリマス、是ハ斯ウ云フ譯デアリマス、例ヘバ本店所在地ニ於テ支店ヲ設ケマスルト支店ニ於テ登記スベキ事項ガ五十一條ノ第一項ニ極ツテ居リマス、ツレデ本店ヲ設ケタトキ登記シテアルコトガ五十一條ノ第一項ニ定メテアル事項ハ登記ヲシテアリマスカラ後ニナツテ支店ヲ設ケテモ五十一條ニ書イテアル事項ヲ悉ク登記スルノハ繁雜デアアルカラ一ハ帳簿ヲ見テ外ノ事項ハ本店ノ登記簿デ分ルノニ又支店ノ場合ニ凡テノ事項ヲ登記シナケレバナラヌト云フコトハ非常ニ面倒デアリマスカラツレバ本店ノ所ニ持ッテ行ッテ新ニドコニ支店ヲ設ケタト云フコトサヘ登記スレバ一々事項ヲ舉ゲテ登記スルニ及バヌト云フ趣意ヲ現ハシタノデアリマス

○名村泰藏君 六十條ノ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ズ、此無限責任社員タルコトヲ得ズト云フノハ至極結構ト思ヒマスガ同種ニ限ラズトヨササウナモノト云フ疑ガ生ジマス、同種ニ限ルト云フコトニナツテ居ルノハ

○政府委員(田部芳君) 此六十條ノ規定ヲ設ケマシタ趣旨ト云フモノハ社員デ居ッテ其内輪ノ種々ノ計畫ヲ能ク知ッテ居リナガラ又同シ商賣ヲシテ居リ

ナガラ競争シテハ随分困マルト云フ方ノ趣意カラシテ此規定ヲ設ケマシタノデアリマス、其趣旨カラシテ種類ノ營業ト云フコトニナラナケレバナラヌ、同シ種類デナケレバ何モ競争スルトカ何トカ云フ弊ガ起ラヌノデアリマスカラ其弊ヲ防グト云フ趣意カラ斯ウ云フ風ニ同種ノ營業トシタ若シ外ノモノニマデ及ボスト非常ノ制限ニナツテ餘リ自由ヲ束縛スルニ至ルダラウト思フ

○名村泰藏君 サウスルト同種ノ無限責任デナクシテ無限責任以外ノモノナラ其競争ハナイト云フ御考デアリマス、私ハ矢張り同種ノモノナラ有限責任ノモノモ無限責任ノモノモ同ジコトノ様ニ思ヒマスガ……

○政府委員(田部芳君) 他ノ會社ノ無限責任社員ト有限責任社員トナルニハ大變違ガアル、無限責任社員デアレバ實際業務ニタヅサハツテスツカリ事業ヲヤツテ行クノデアリマスガ無限責任社員ハ唯資本ヲ出シテ居ル、金ヲ出シテ居ルニ過ギナイデ實際營業ヲシマセヌカラ例ノ他ノ會社ノ有限責任社員デアラウガ全ク金ヲ出シテ居ルダケデ實際營業ニ從事スルノデアリマセヌカラ其弊ハナカラウト思ヒマス

○名村泰藏君 マア一ツサウシマスルトチヨット語ヲ換ヘテ云ヘバ此會社ノ重役ヲシテ居ルモノガ同種類ノ會社ノ重役トナルコトハ出來マイト云フダケノ意味デアリマス、サウシヤナイ意味デアリマス

○政府委員(田部芳君) 此重役ト申シマスルノハ株式會社ノ取締役等ヲ御指シニナルカ知リマセヌガ若シ他ノ會社デ重役ニナツテ營業ニ關係スルト云フノデアリマスレバ則チツレハ六十條ノ第一項ノ初ニアリマスル所ノ第三者ノ爲メニ營業ヲスルト云フノニ當リマスカラツレハ出來ヌ、唯錢ヲ出シテ居ル、資本ヲ出シテ居ルノデアレバ差支ナイガ實際ハ他ノ會社ノ營業ニ從事スルト云フコトハ禁ジテアリマス

○渡邊洪基君 今ノ御尋ネデスガ、例ヘバ斯ウ云フノガアリマス、合名會社ノ社員デアアル者ガ他ノ銀行ノ取締役トカ或ハ又業務ヲ擔當スルトカ云フコトモサウ云フコトニナリマス

○政府委員(田部芳君) 唯今ノ御尋ノヤウナ場合モ矢張り第三者ノ爲メニ會社ノ營業ニ屬スルト云フコトデアリマスカラ出來ヌコトニナリマス

○渡邊洪基君 尤モ承諾ガアレバ宜イノデスカ

○政府委員(田部芳君) ツレハサウデス

○男爵南岩倉具威君 第六十三條ニ「會社財産ヲ以テ」ト云フ字ハ會社ノ財產ヲ以テト云フコト同ジ意味デアリマス、此修正案ニハ到ル所ニ

○政府委員(岡野敬次郎君) 全ク其通りデアリマス、此修正案ニハ到ル所ニ會社財産ト云フ文字ヲ用井テ居ル其中ニ會社財産ト云フモノト會社ニ現存スル財產ト云フ區別ハ設ケテ居リマスケレトモ會社財産ハ會社ノ財產デアルト云フコトハ全ク御説ノ通りデアリマス

○委員長(侯爵黑田長成君) 第六十八條ヨリ第百三條マデ……
○辻新次君 此第七十三條ニ「退社員ハ本店ノ所在地ニ於テ退社ノ登記ヲ爲

ス」此條ニ付テテ「不審ヲ起シタルノデスガ若シ其支店ノコトヲ主トシテ取扱フテ居ル社員ガ何カ不都合ナコトガアツテ退社ヲセヌケレバナラヌト云フトキニ其退社員ニ對シテハ此條デハ少シ足りヌヤウニ思フノデアリマス、何トナレバ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲスルバカリデアリマスカラ支店デ何カ引負デモシタヤウナコトガアツテ其社員ガ退社サレタト云フ場合ニ本店ダケデ退社員ノ登記ヲシタマケデハ少シ足りヌヤウニ思ヒマスガサウ云フ不都合ハ起ラヌノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ツレハ不都合ハナイ積リデス、ツレハ第一條第一項第一號ニ「前條第一號乃至第三號ニ掲ゲタル事項」其第三號ハ何デアアルカト申シマスルト「社員ノ氏名住所」社員ト云フモノハ必ズ誰ガ社員デアアルト云フコトハ登記シテアル、而シテ第五十二條ニ於キマシテ「第五十一條第一項ニ掲ゲタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スゴトヲ要ス」トアリマス一人デモ社員ガ減シタト云フコトガアリマスレバ即チ登記シタル事項ニ變更ヲ生シルノデアアルカラ必ズ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲシナケレバナラヌ、ソコデアアルカラ第七十三條ノ場合ニ於キマシテ一人ノ社員ガ其原因ノ如何ヲ問ハズ第六十九條ニ掲ゲタル事項ノ爲メニ退社シタルト云フコトガアリマスレバ必ズ其退社シタルト云フコトヲ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ登記シナケレバナラヌ、場合ニ依ツテハ御説ノ如ク一人ノ社員ガ主モニ支店ニ於テ働イテ居ルト云フコトガアリマスコトハ法律ニ於テ社員ハ或ハ本店ニ於テ働カウガ或ハ支店ニ於テ働カウガ其區別ハナイ、唯此所ハ登記ヲ爲スノニ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲスルトキモ支店ノ所在地ニ於テ登記ヲスルトキモイツモ同時刻ニ登記ガ出來マセヌカラソコデアアルカラ責任ガアルカト云フコトヲ法律ノ上ニ明ニ極メテ置キタイ、本店ニ於テ登記シタルコトハ支店ニ於テモ無論登記ヲスルノデアアルカラ本店ニ於テ登記ヲ爲シタル前ニ生シタルコトニ付テ責任ヲ負フト云フノハ責任ノ有ル無シト云フ標準ヲ極メタノデスカラ本店ニ於テ働ク社員デアアルトカ支店ニ於テ働ク社員ト云フコトニハ一向區別ガナイ、又此第七十三條ノ此場合ニ適用シテ不都合ハ感シナイト云フ考デアリマス

○辻新次君 今ノ御説ヲ伺フテ見ルト丁度私ノ疑ガ矢張り尙ホ疑ガ深クナツタヤウデアリマス、私ノ考デアハ退社員ガ退社ノ登記ヲ爲ス前ニ生シタル部分デアレバ疑ハナイガ本店ノ所在地ニ於テト云フ字ガ這入ツテ居ルカラ疑ヲ起シタルノ岡野君ノ御説明ハ私ノ思フ所ノ「退社員ハ退社ノ登記ヲ爲ス前ニ於テ」云々トシテ本店所在地ト云フ字ガナケレバ本店ノ登記モ支店ノ登記モ皆含シテ居ル故ラニ本店ノ所在地ニ在ツタカラ疑ガ起リマシタ、今ノ御説明デ尙ホ疑ガ起ツテ居ルヤウデアアルカラモウ一度伺ツテ置キタイ、唯退社員ガ退社ノ登記ヲ爲スト云フ字ガ明瞭デナイヤウニ思フ

○政府委員(岡野敬次郎君) ツレハ例ハ第四十五條ニ「會社ノ設立ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得

ス」トアリマシテ第四十五條ニ於キマシテ「會社ハ其本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スニ非サレハ開業ノ準備ニ著手スルコトヲ得ス」ト云フノデ標準ハ何所ニ在ルカト申シマスルトイツモ法律ノ規定ニ依ツテ斯ウ云フコトハ出來ナイトカア、云フコトハ出來ルトカ又責任ガアルトカ、ナイトカ云フコトハ極メルノハ一ツ根本タル本店ト云フコトデ標準ヲ定メルガ宜カラウト思フ、然ラザレバ簡單ニ登記ヲ爲スト書イテアレバ御説ノ如ク總テ支店所在地又本店ハ勿論、總テ登記セネバイカヌト云フコトニナル、而シテ其登記ト云フモノハ同一時日ニ出來ルモノデハナイカラ其標準ハ此時カラハモウ宜イト云フコトデ第四十五條第四十六條ノ精神ト同シヤウニ第七十三條ニ於テモ亦支店所在地ニ於テ登記ヲ爲スデモ本店ニ於テ登記ヲスレバ責任ヲ免レルト云フコトヲ定メタノデ、他ノ箇條ト精神ハ變ラヌノデアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) チョット附加ヘテ申シマスガ、七十三條ハ登記スベキコトヲ極メタノデアアリマセヌ、登記スベキコトハ先刻隣席カラ申シタル通り五十三條ニ極メテアリマス、此方ニ本店ト支店トアリマスカラ疑ハ起ラヌ積リデアリマス

○辻新次君 此八十九條デ御尋ネヲシタイト思フ、是ハ方々ニ此箇條ガアルガ百條ニモアリマス、此會社自ラガ選ブト云フコト、ツレカラ裁判所ガ選ブト云フコト、二ツアリマス、又或ル場所ニ於テモ少シ御尋ネシナケレバナラヌカト思ヒマスガ「會社ガ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニヨリ清算人ヲ選任ス」裁判所ガ選任スルトアリマスガ是ハドウ云フ人ヲ選任スルノデアリマスガ、チョット先ヅ八十九條デ御尋ネヲイタシタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ別段ニ他ノ場合ト殊更ニ違ヘタノデアリマス、唯今御舉ゲニナツタ第八十九條第百條ノ外ニ八十八條ニモ矢張り斯ウ云フ場合ガアリマス、八十八條ノ場合ハドウ云フ場合カト云フト第七十四條第五號ニゴザイマス社員ガ一人トナツタ場合ニハ合名會社ハ所謂社員團法人デアリマスカラ社員ガ一人ニナレバ無論解散スル、此場合ニ其社員ガ清算人トナルト云フコトデアアルト他ノ一人ガ死ヌマデ同シヤウニヤツテ來タモノヲ一人ニナツタタメニ其一人ガ清算人ニナツテ或ハ公平ニ清算ノ手續ヲセヌデアラウト云フ眞モアル、ツレカラ第八十九條ノ場合デ云ヘバ是ハ會社ニ何カ不都合ナコトガアツテ即チ裁判所カラ解散ヲ命ゼラル、場合デアアルカラ通常ノ場合デハナイ、其場合ニ其社員ガ清算人トナルト云フコトデアアルトハ或ハ解散ヲ命ジタル所ノ趣意ガ十分ニ貫徹シ得ナイデアラウト云フ眞モアル、ツレカラ第百條ノ場合モ是モ會社ガ事業ニ著手シタル後其設立ガ取消サレタト云フノデ或ハ一人ノ社員ハ他ノ社員カラ騙サレテ會社ニ入社シタ、殊ニ合意ガ十分ニ成リ立ツテ居ラナカッタト云フコトヲ理由トシテ根本的ニ會社ノ設立ガ取消サレル場合、此場合ニ裁判所ヲ干渉セシムル方ガ眞ニ清算人トシテ其責任ヲ盡ス人ガ得ラレルデアラウト云フ理由カラシテ、他ノ場合ニハ會社

ニ任シテ八十八條八十九條百條ノ如キ場合ニハ殊更ニ公平ニ其清算ヲ結了セシムルト云フ趣意ヲ以テ裁判所ニ干渉セシムル譯デアリマス

○辻新次君 今御尋ネ申シテ選ブ人ト云フモノハ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 此清算人ハドウ云フ人ヲ選ブカト云フコトニ就テハドウ云フ人デナクテハ資格ガナイト云フコトハ定マツテハアリマセヌガ、先キニ法律トナツテ公布セラレタ非訟事件手續法ノ第三十八條ニハ清算人トナレナイ者ガ制限シテアリマス、ツレハドウ云フ者カト云フコト第一ハ未成年者第二ハ禁治產者及準禁治產者第三ハ剝奪公權者及停止公權者ツレカラ第四ハ裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人第五ハ破產者、是ダケノ者ハ裁判所ニ於テ選任ハ出來マセヌ、其他ノ者ハ裁判所ニ於テ適當ト認メタ者ヲ以テ清算人トスルト云フコトニ法律上ハナツテ居リマス

○辻新次君 サウスルト少シモ會社ニ關係ノナイ人デモ矢張り選ビマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 法律上デハ別ニ資格ハ制限シテアリマセヌ即チ唯今申シテ清算人ニナレナイ者ノ外ハ別ニ極リハアリマセヌケレドモ併シマルデ無關係ノ人ヨリハ何レ社員ノ中カラ適當ナ人ヲ選ブト云フコトハ實際裁判所ガアルデアリマセウ、或ハ將來清算人ヲ要スルコトガ段々澤山ニナレバ是等ノコトヲ主トシテヤル專門ノ人間ガ出來ルカモシレマセヌ、例ヘバ公證人トカ或ハ辯護士ト云フヤウナ者デ適當ナ人ガアレバツレモ加ヘテモ宜シイ、ツレハ裁判所ガ適當ト見ル範圍内デスルヨリ外ハナイノデアリマス

○辻新次君 ツレナラバ役人ハドウ云フモノデスカ大藏省ノ役人トカ内務省ノ役人トカ云フモノヲ選ブト云フコトハ私ガ申スマデモナイ、ツレハ服務規律デ制限サレマスカラ選ンデモナラヌデアリマセウ、又裁判所ガ選ブコトモアリマスマイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 役人ヲ選ブト云フコトハ私ガ申スマデモナイ、ツレハ服務規律デ制限サレマスカラ選ンデモナラヌデアリマセウ、又裁判所ガ選ブコトモアリマスマイ

○子爵入江爲守君 七十八條ノ二項ノ但書ノ「其期間ハ二箇月ヲ下ルコトヲ得ス」ト云フノハ一定ノ期間ト云フコトヲ解釋シタノデアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 左様デゴザイマス、ツレヨリ以上ニ定メルコトハ妨ハナイガツレヨリ以下ハイカヌト云フコトデアリマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 第一百四條ヨリ第一百五條マデ

○名村泰藏君 チョット、百十八條デゴザイマス、但書以下ニ定メテゴザイマスガ「有限責任ノ全員ガ退社シタル場合ニ於テハ無限責任社員ノ一致ヲ以テ合名會社トシテ會社ヲ繼續スルコトヲ妨ケス」トアリマス、一旦是ハ解散スルモノデアリマスカラ更ニ外ノ會社ヲ組立テルトモ合名會社トナストモ一向何レニシテモ宜ササウニ思ヒマスガ、一致ヲ以テ合名會社トシテ會社ヲ繼續スルコトヲ妨ケヌト云フコトヲ殊更ニ茲ニ御入レニナツタ理由ヲ伺ツテ置キタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 固ヨリ一旦解散シタル後ノコトデアリマスカラ社員ノ同意ガアリマスレバドウ云フコトヲ宜シイト云フノハ一ノ御説デアリマスガ、解散シタ以上ハ清算ト云フコトヲセネバナリマセヌ、先ヅ原則トシテ清算ヲセネバナリマセヌ、清算ヲシマスルニハ今マデ第三者トシテ取引シテ居ツタ其關係ヲ斷絶スル又會社ノ財産モ清算ノ結果デ社員相互ノ間ニ分配セニヤナラヌコトニナリマス、サウスルト云フコトヲヤツテハ社會ノ爲ニ不利益デアル、折角是マデ營業シテ來タモノデドウカ無限責任社員ダケ後ニ殘ツテ營業ヲ繼續シタル場合ニ於テ總テノ關係ノ斷絶スルコトカ或ハ會社ノ財産ヲ分配スルコトヲセズニ矢張り今マデノ如ク營業ヲ繼續スルコトガ出來ル様ニシタイ、其途ヲ第百十八條ニ於テ開イタ、即チ清算ト云フコトヲセズニ矢張り營業ヲ維持シテ行クコトガ出來ル様ナ實際ノ便利ヲ考ヘタ方カラ此規定ヲ設ケタノデアリマス

○名村泰藏君 サウスルト此場合ニ於テ解散ハスルガ清算ヲセズニト云フト有限責任ノ者ニ對シテハ矢張り清算ヲシナケレバナラヌコトニナツテ來ハシマセヌカ、サウスレバ到底清算セズニ置クコトハ出來ヌ様ニナリハシマセヌカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ツレハ合名會社ノ場合、一人ノ會社ト認メルサウスルト場合ニハ御説ノ如ク計算ヲシマセヌケレバ其社員ニ返スベキモノガ極リマセヌ、併ナガラ計算シテ其社員ノ持分ヲ極メルト云フコト、ツレカラ其清算ヲ致シマス其總テノ財産ヲ社員ノ間ニ分配スルコトハ非常ナ違デアリマス、詰リ計算ヲシテ此會社ノ財産ハ債權モ債務モ殘ラズ計算シテ會社ノ財産ハ幾ラデアル、サウスレバ社員ハドウ位ノ持分デアルト云フコトヲ計算シテ其割合ニ應ジテ社員ニ戻シテヤレバ後ノ關係ハ此儘ニ存シテ置ク、ツコガ違ヒマス

○辻新次君 先刻モ清算人ノコトニ就テチョット御尋イタシマシタガ第百二十四條ニ就テモウ一ツ御聞キ申シテ置キタイ、此検査役ハ二通りデス、裁判所デ選ブノト、ツレカラ其會社自身デ選ブノト二ツアルヤウニ覺エテ居リマスガ、茲ニ百二十四條ノ検査役ハ株主外ノ人モ選ブコトガ裁判所ハ出來ルノデアリマスカ、株主ノ中デ選ブト云フコトハナイノデアリマセウカチョット御尋ネシテ置キマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 検査役ノ選任ニ就キマシテハ一向法律上制限ハナイノデアリマス、併ナガラ此第百二十四條ノ規定ヲ見マシテモ取締役ハ其選任後遲滞ナク第百二十二條第三號乃至第五號ニ掲ゲタル事項及ビ第一回ノ拂込ヲ爲シタルヤ否ヤヲ調査セシムル爲メ検査役ノ選任ヲ裁判所ニ請求シナケレバナラヌノデアリマスカラ詰リ取締役ガ此法律ノ規定ヲ遵奉シテ法律ニ定メタル所ヲ悉ク適法ニ行ツテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ調査セシムル爲メニ検査役ノ選任ヲ請求スルノデアリマスカラ固ヨリ裁判所ニ其選任ヲ一任スル法律ノ精神デアリマスカレドモ同ジ取締役ノ中カラ検査役ヲ選任スルコトニナリマシテハ調査ノ目的ヲ達シマセズ實際サウスルト云フコトハ無カラウト思ヒマス、法律上ニハ制限ハナイノデアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 検査役ノ選任ニ就キマシテハ一向法律上制限ハナイノデアリマス、併ナガラ此第百二十四條ノ規定ヲ見マシテモ取締役ハ其選任後遲滞ナク第百二十二條第三號乃至第五號ニ掲ゲタル事項及ビ第一回ノ拂込ヲ爲シタルヤ否ヤヲ調査セシムル爲メ検査役ノ選任ヲ裁判所ニ請求シナケレバナラヌノデアリマスカラ詰リ取締役ガ此法律ノ規定ヲ遵奉シテ法律ニ定メタル所ヲ悉ク適法ニ行ツテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ調査セシムル爲メニ検査役ノ選任ヲ請求スルノデアリマスカラ固ヨリ裁判所ニ其選任ヲ一任スル法律ノ精神デアリマスカレドモ同ジ取締役ノ中カラ検査役ヲ選任スルコトニナリマシテハ調査ノ目的ヲ達シマセズ實際サウスルト云フコトハ無カラウト思ヒマス、法律上ニハ制限ハナイノデアリマス

○辻新次君 第二百二十六條ニ株式申込證ニ通トアリマスニ通ハドウシテモ法律上デ要ルト云フコトヲ御定メニナツタノデアリマス、何處ニ此ニ通ハ要シマスノデスカチヨット御聞キ申シタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 株式申込證ハ二通作ラナケレバナラヌト云フコトニ致シマシテ理由ハ一通ハ會社ニ保存シテ置ク必要ガアリマスシ又一通ハ之ヲ登記ヲ申請スル時分ニ登記所ノ方ニ出シマス必要ガアリマスカラ、ソレデ二通ニ致シテ置キマシタイ

○辻新次君 モウ一ツ御尋ネシタイ、百五十五條、今度株式會社ノ株券ヲ無記名トスルコトガ出來ル様ニナツテ居リマスガ、或ル會社デ株券ヲ無記名ニセスト云フコトヲ定款デ極メルコトガ出來マスカドウモツレハ出來ヌ様ニ見エマス、第五百五十五條ヲ見ルト、事ニ依ルト株主ガ全額拂ツタ時ニハ無記名ニシテヤラナケレバナラヌト云フコトガ法律デ極メテアル以上ハ、ドノ株式會社モ主張リ無記名トスルコトハ請求ニ依テセンナラヌノデ、定款デサウ云フコトヲセヌト云フコトハ極メラセヌノデゴザイマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 第五百五十五條第一項ノ規定ハ株主ニ侵スベカラザル剝奪スベカラザル權利ヲ與ヘタ精神デハナイ、一個ノ會社ノ定款ヲ以テ本會社ノ株券ハ總テ記名トスト定メマシテモ其定款ノ規定ガ法律上有效デアツテ其場合ハ第五百五十五條第一項ノ規定ヲ適用スルコトヲ見ナイコトニナル考デアリマス

○名村泰藏君 チョット參考ノ爲メニ伺ツテ置キマスガ此検査役選任ノコトハ株主デアラウガ何デアラウガ一向私ハ差支ナカラウト思ヒマスガ此検査役ト云フ様ナモノヲ特ニ一ノ商賣ノ如クスル様ナコトニナツテ居ル例ガ外國ニモアリマスデセウガ佛蘭西邊デハ無イ様ニ思ウテ居リマスガ外國ニ、裁判所ヘ持ツテ行ケバ公證人トカ或ハ何トカ名ノ付イタ者ガ一種ノ團體ヲ組ンデソコヘ行ケハ検査役ニナル人ガアル丁度一ツノ商賣見タヤウニシテ居ル國ハアリマスマイカ、ドウデセウカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 法律ノ規定ト致シマシテ英吉利ノ會社法、獨逸ノ株式會社法ニ矢張り検査役ト云フモノニ當ルノガアリマス、別段検査役ヲ商賣ニシテ居ル者ノアル事實ハ聞キマセヌ實際ニ於テハドウナルカト申シマスト我共ノ考デハ詰リ検査役ニナツテ調査スルノデアリマスカラ實際會社ノ營業ノコトニモ通ジテ居ラナケレバナラズ、又會社ノ帳簿トカ云フヤウナモノモ見テサウシテ正シイトカ或ハ不正デアルトカ云フヤウナコトヲ鑑別シテ居ルダケノ智識ヲ具ヘテ居ル人デナケレバ検査役ニナツテ一向甲斐ガナイ、或ハ實際他ノ會社ナドニ監査役ヲ勤メテ居ル人ノ中デ裁判所ガ公平デアアル又調査モ十分出來ルト認メタ人カラ検査役ヲ選任スルト云フコトニナラウト思ヒマス、此法律ガ出來テ行ハル、コトニナツテモ決シテ検査役ト云フ者ガ商賣ノニ起ルデアラウト云フコトハ豫想シテ居リマセヌ、殊ニ又検査役ト云フモノハ監査役ノ上ニ重ネテ置イタ機關デアリマシテ検査役ノ適用セラル

ル場合ハ極メテ少イ場合デアリマシテ實際ニ於テ検査役ナドハイラヌヤウニシナケレバナラヌノデアリマス、是ナドヲ商賣ニシテ居ツタ所デ決シテ利益ナドガアラウ筈ハナイ

○名村泰藏君 分リマシタ、其邊ハ御尋ネスルニ及バヌ、唯外國ニサウ云フ例ハナイカト云フコトダケ御尋ネシタノデアリマス

○男爵南岩倉具威君 第五百五十三條デアリマスガ前ニ御説明ガアツタ時分ニ商法修正ノ此原案ヲ作ルトキニハ發信主義ヲ取ツテ向フニ届イタカ届カヌカト云フコトノ其方ノ主義ハ採用シナカッタト云フ御説デアリマシタガ之ヲ御採用ニナツタノハ開明諸國ノ工合ハドンナ有様デアルカ、或ハ日本デハ此主義ヲ取ル方ガ宜イト云フ利害得失ヲ研究ノ上デ御採用ニナリマシタカ、ソレ等ノコトヲ一應承ツテ置キマシタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ單ニ商法ダケノ問題デアリマセヌ、發信主義ヲ取ルカ受信主義ヲ取ルカト云フコトハ所謂民法ニ定メテアリマスル所ノ單獨行為トカ、單獨行為ニアラザル雙方ノ同意ヲ要スル行為ニ因ツテ色々學說モアリ又議論モアルノデゴザイマス、或ハ單獨行為ニ付テハ廣ク商法ノ此行為ノミナラズ一般ニ例外ヲ設ケルトシテ單獨行為ニ付テハ發信主義ヲ取ルト云フ國ハ決シテナイノデアリマセヌ、民法ニ於キマシテハ單獨行為ニ付テハ受信主義ヲ取ツタノデアリマス、併ナガラ受信主義ト云フモノハ商法ニ於テ此ノ如キ場合ニ箱メテ參リマスルト前回ニモ述ベマシタ通り一人ニ讓渡ノ通知ノ届ナカッタ爲メニ總テノ手續ガ無効ナルト云フコトニナツテハ多數ノ株主ヲ相手ニスル株式會社ニ取ツテハ煩雜ニ堪ヘヌノミナラズツレガ爲メニ營業ガ出來ヌト云フ虞ガアルト云フノデ發信主義ト定メタ譯デアリマス、唯今申上ゲマシタ通り廣ク單獨行為ニ付テ發信主義ヲ取ツテ居ル國サヘアル、又實際便宜上カラ言ヘバ民法ノ規定ニ對シテハ例外デアリマスケレドモ此ノ如キ場合ニハ是非發信主義ヲ取ラナケレバナラヌト云フ趣意デアリマス

○委員長(侯爵黑田長成君) 時刻ニナリマシタカラ一應休憩致シマス

午前十一時五十五分休憩

午後一時四分開會
○委員長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ開會イタシマス第五百五十六條ヨリ第二百六十二條マデ……

○辻新次君 百八十條デ……是迄ハ監査役ノ人數ガ極ツテ居リマシタガ今度ハ人數ガナクナリマシタガ是ハドウ云フコトデアリマス、マア監査役ナドハドウデモ宜イ、サウ大變ニ人數マデ極メテ監査スルト云フヤウナコトマデニハ及バナイ、適宜デ宜イト云フノデ、詰リ監査役ハ大抵デ宜イト云フ趣意カラ出タノデアリマス、チヨット御聽キ申シテ置キマシタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 決シテ監査役ハドウデモ宜イト云フ譯ニハイカヌノデ、是ハモウ株式會社ニハ必要ナ機關デアリマスカラ大ニ重キヲ置カバナ

ラヌノデアリマスガ、併ナガラ此株式會社ニモ種々アリマシテ隨分大キナ資本ノ大キナ會社モアリマスシ、又中ニハ極ク僅カナ資本ノ會社モアツテ小サイ株式會社デモ矢張り三人以上置カネバナラヌト云フコトデハ餘リ人數ガ多過ギルカラツレハ會社ノ資本ノ大小其他ノ事情ニ依ツテ自由ニシテ或ハ一人デモ宜イト云フ自由ヲ與ヘルタメニ別段ニ法律上デハ制限ヲ置キマセヌノデアリマスカラ會社ノ定款ニ於テ此會社ハ一人デ宜イトカ或ハ三人デ宜イトカ五人デ宜イトカ云フ風ニ適宜ニ極メル自由ヲ與ヘルタメニ法律上デハ制限ヲ置カナカッタノ決シテ監査役ハドウデモ宜イト云フ趣意デハゴザイマセヌ

○辻新次君 第五ノ第五章ノ株式合資會社ノコトニ就テチヨット伺ヒタイ、是ハ前ノ時ニモチヨット質問シタヤウニ思ヒマスガモウ一應能ク御尋ネシテ置キタイ、是ハ今度全ク新ラシク這入ルモノデアリマスガ新ラシク這入ルト云フコトニ就テハ餘程必要ヲ見テナサッタコトダト思ヒマス、新ラシイモノガ這入ルト共ニ今迄アツタモノヲ禁ズルト云フコトガ此所ニ起ツテ來マシタ、今日ノ合資會社ニハ二種アツテ一ハ無限責任社員ト有無限責任社員デ成リ立ツモノ、ツレハ今度ノ修正案ノ合資會社ニアリマスガ有無限責任社員ノミデ合資會社ヲ指ヘルコトガ今日ノ制度デハ出來得ル、又現ニアルノデス、ツレハ今度禁シテ仕舞ツテ斯ウ云フ有無限責任社員ノミデ合資會社ト云フモノハ出來ヌコトニシテ更ニ株式合資會社ト云フモノガ此所ニ起ツテ來タ、成ル程株式合資會社ト云フモノニ就テハ歐羅巴デハ餘程發達シテ好イ都合ニ出來テ居ルト云フコトハ聞イテ居リマスガ一方ニ從來有ルモノヲ禁ズルト云フコトハドウ云フ弊害ガアルカラサウ云フモノハ國ノ商業ヲ發達サセルニ就テ益ガナイト云フコトデナケレバ禁ゼヌ答デアリマスガ、其禁シタ趣旨ト更ニ株式合資會社ヲ指ヘルコト云フコトハ工業上商業上將來日本ノ上ニ取ツテ是ガ出來レバドレダケノ點ガ發達スル、是迄サウ云フ部分ニ就テハサウ云フモノガナイタメニ進マナカッタガ、斯ウ云フモノヲ置ケバ一般ノ公益ヲ圖ルコトガ出來ルト云フヤウナ御見込ガアラウト思ヒマスカラ大體ニ就テ從來ノモノヲ禁シタ理由ト更ニ斯ウ云フ新ラシイモノヲ今度ノ法律デ設ケラレルト云フコトノ趣旨ヲ一應御尋ネ申シテ置キタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 辻サンノ御尋ヲ第二段ニ分ケマシテ第一ニハ現行法ニ認メル所ノ合資會社ヲ商法修正案ニ於テ認メナイハドウ云フ理由デアルカ、第二ニ商法修正案ニ於テ新組織ノ株式合資會社ト云フモノヲ認メタ理由ト分ケテ御答イタシタイト思フ、先ツ第一ノ點ニ付キマシテ御承知ノ如ク此現行法ニ認メテアリマス所ノ合資會社ハ實ニ不可思議千萬ノ會社デアリマシテ何故斯ノ如キ法律上ノ性質ニ合ハヌ會社組織ヲ認メタノデアアルカト云フコトハ我々非常ニ疑フ點デアリマスデ先ツ此前ノ商法起草者ノ云フ所ノ理由書ニ付イテ見マスルト云フト歐羅巴諸國デ認メテ居ル所ノ合資會社即チ商法修正案ニ云フ所ノ合資會社ト同ジ組織ノ會社ト云フモノハ法律ニ於テ認ム

ベカラザルモノデアアル、其理由ハドウデアアルカト云フト此全體會社組織ニアツテ社員タルモノガ一向其業務ノ執行ニ關係セヌト云フノハ極ク會社組織トシテ不適當ノモノデアアル、此歐洲諸國ノ法律ニ云フ合資會社ヲ商法修正案ニ於テ認メル所ノ合資會社ト云フモノハ一部ノ社員即チ無限責任社員ガ主トシテ働クノデアアツテ有無限責任社員ナルモノハ實際働カナイノデアアル、會社組織ニ於テ働カナイ所ノ一種ノ社員ヲ認メナイト云フコトハ甚ダ不穩當デアルト云フ理由ガアル、其理由ハ一應ノ理由デアアルカ分リマセヌガ併ナガラ唯今ノ理論ヲ貫イテ行クト何故現行法ニ於テ株式會社ヲ認メテ居ルカ、更ニ理由ガ分ラナイ、株式會社ニアツテ株主ハ決シテ業務ノ執行ニ當ルノデハナイ、取締役ト云フモノガアツテ即チ營業ノ任ニ當ルノデアアル、デアリマスカラ株式會社ヲ認メル以上ハ矢張り同ジ會社組織デアアルナラバ株主自身ハ營業ノ任ニ當ラヌト云フコトハ無論認メナケレバナラヌ、而シテ歐羅巴諸國ノ云フ所ノ合資會社ニアツテハドウデアアルカト云フト業務執行ニ與カラザル所ノ有無限責任社員ト雖モ決シテ會社ノ利害ノ關係ヲ持タヌト云フコトハナクシテ矢張り法律ニ定メタ權利ヲ持ツコトガアル、唯自分ガ直接ノ營業ノ任ニ當ラナイト云フコトデアアル、其點カラ比較シテ申セバ株式會社ヲ認メル以上ハ決シテ營業ノ任ニ當ラナイ社員ト云フモノヲ株式會社ニ於テ認メヌト云フ議論ハ甚ダ誤リタル議論ト云ハナケレバナラヌ、次ニろゑするノ説明スル所ニ依ルト英吉利ノ法律ニアル處ノじよいんと、すどとく、こんににニナルモノハ最モ會社ノ組織ノ適當ノモノデアアル、歐洲大陸諸國ノ認メテ居ル所ノ合資會社ト云フモノニ餘程優ツタ點ガアル、是レニ摸倣シナケレバナラヌト云フノガ第二ノ理由デアリマス、英吉利ノ會社法ハ餘程大陸諸國ノ法律トハ違ツテ居ルノデアリマス、デ又じよいんと、すどとく、こんににニ様々ノ種類ガアリマス、様々ノ種類ガアリマスガ先ツ歐洲大陸諸國デ認メテ居ル、即チ會社組織ノ中デ最モドレニ類似シテ居ルカト云ヘバ株式會社ニ類似シテ居ル、株式會社ト云フモノト夫カラ英吉利ノじよいんと、すどとく、こんににニ似テ居ル以上ハ特ニ株式會社ノ外ニ尙ホ英吉利ノじよいんと、すどとく、こんににニ類似スル如ク合資會社……現行法ニ云フ所ノ株式會社ト認メル必要ガ無イコトハじよいんと、すどとく、こんににニ似テ居ルカト云ヘバ決シテ當ツテ居ラナイ、矢張りじよいんと、すどとく、こんににニ於テモ社員ノ數ガ或ハ數百人數千人ニ上ル場合ガアレバ社員自身ガ直接ニ各業務執行ニ與ルコトハ無イ、又與ルコトハ實際ニ於テ出來ズ又法律ニ於テ認メルコトハ出來ナイ、故ニ此草案ノ起草者ノ根據トスル所ノモノハトント我々ノ考デハ根據トナラナイト思フ、殊ニ又現行法ニ認メテ居ル所ノ合資會社ノ組織如何ト云フト實ニ奇妙ナ組織デアアル、様々ノ奇妙ナ點ガアリマスガ先ツ大キイ所ヲ申上ゲマスト云フト英吉利ノじよいんと、すどとく、こんににニ無論社員ノ數モ澤山アリマス、社員ノ數ガ非常ニ澤山アリマスカラシテ從ツテ法律ノ規定ニシテモ稍ヤ株式會社ニ類似ス

ル如キ嚴密ナ規定ガ設ケテアル、然ルニ現行法ニ認メル所ノ合資會社ト云フモノハドウデアアルカト云フト頗ル規定ガ少クナイ、ソコデ社員ノ責任ト云フモノガ有限デアツテ而シテ其社員ノ數ハ或ハ數百人ニ上リ或ハ數千人ニ上ルト云フ場合モアル、決シテ社員相互ノ信用ヲ以テ設立シタ會社組織トハ云ヘナイ、合名會社ニアツテ社員ノ數モ法律上制限ハアリマセヌガ事實相互ノ信用ヲ以テ始メニ設立スルコトガ出來ル會社デアリマスカラ社員ノ數モ實際少クナイ、甲ハ乙ヲ信シ乙ハ甲ヲ信ズルト云フコトニ依ツテ始メテ合名會社ハ成立チ得ル、然ルニ此合資會社ニアツテハ英吉利ノじよいんと、そとつく、あんなにニ摸倣スル精神デアツタモノデアリマスカラ社員ノ數ト云フモノハ非常ニ澤山アル、現ニ今日設立セラレテ居ル合資會社ノ中或ハ四百或ハ五百以上ノ社員ヲ持ツテ居ル合資會社ガアル、其四百或ハ五百ノ社員カラ成リ立ツテ居ル會社ノ組織ニアツテ四百人皆ナ相互ニ信用シテ居ルト云フコトハ事實ニ於テ云フベカラザルコトデアアル、又法律デ信用アルコトヲ要スルコトハ出來ヌノデアリマス、然ルニ此現行法ノ第三百三十七條ニ會社ハ本節ニ定メタル規定ノ外總テ合名會社ノ規定ニ從フト云フコトニナツテ居リマス、合名會社ト云フモノハ信用ヲ以テ成ル會社デアアル、合資會社ハ信用ヲ以テ成ルモノデアアルト云フコトハ云ヒ得ナイニモ拘ハラズ合名會社ノ規定ニ從フト云フコトニナツテ居ルノハ甚ダ現行法ノ規定ノ不可ナル所デアリマス、非常ニ大ナル缺點ト云ハナケレバナラス、又此有限社員ノ責任ハ悉ク有リ得ル而シテ其社員ノ數ガ數百人數千人ニ上ル場合ニハ勢ヒ株式會社ノ如キ所謂一定ノ資本ヲ以テ成リ立チ而シテ其一定ノ資本ノミニ依ツテ成リ立ツテ居ル、株式會社組織ニナツテ合名會社トハナラヌノデアリマス、デ若シ株式會社ノ組織ニ似ル様ナモノデアレバ株式會社ノ組織ノヤウナモノニスレバ社員ノ數ガ唯今申シタヤウニ非常ニ多數ニナリマスシ、非常ニ細カイ規定ヲ設ケテモ現行法ニ認メテ居ル合資會社ノ組織ガ決シテ完全ナリトハ言ヒ得ナイノデアリマス、例ヘバ現行法ノ合資會社ニ於キマシテハ總會ト云フモノヲ認メテ居ル通常總會ヲ認メテ居ルガ又臨時總會モ認メテ居ル、サウシテ通常總會ニ於テ何ヲスルカ臨時總會ニ於テハドウ云フ決議ヲスルカト云フ規定サヘアルニモ拘ラズ其他ノ點ニ於テハ規定ガ頗ル簡單デアアル、是ハ現行法ノ規定トシテ非常ニ不完全ナリノ點ト謂ハナケレバナラスノデアリマス、尙又此總會ヲ認メテ居ルト云フ一ノ點カラ言ヒマシテモ決シテ合名會社ノ如ク信用ヲ以テ成リ立ツテ居ル會社ト同一視スルコトハ出來ヌト云フコトハ誠ニ明ナコトデアリマス、現行法ノ第三百三十七條ノ精神ト云フモノハ甚ダ誤ツテ居ルモノト謂ハナケレバナラス、ソレカラ次ニ餘程奇妙ナ點ト云フモノハ此現行商法ノ草案ニ認メテ居ル所ノ合資會社、其合資會社ニ就テノ規定ハ頗ル不完全デアリマスガ併ナガラ現行法ヨリハ或ハ或ル點ニ於テ宜シイカモ知レヌ、ソレハドウ云フコトカト申シマスト現行法一部分ガ即チ二十六年七月一日カラ實施セラルルニ當リマシテ此前ノ法律ニ修正ヲ加ヘマシテ此第三百三十六條カラシテ第

百五十三條ニ至ルマデノ間ニ大分修正ヲ加ヘタノデアリマス、此修正ヲ加ヘタ趣意ハ此合資會社ト云フモノヲ商法修正案ニ認メテ居ルヤウナ合資會社ノ組織ニ改メヤウト云フノ精神デ修正ヲ加ヘタモノト謂ハネバナラス、所ガ其當時ニアリマシテハ一方ニハ草案、認メテ居ル合資會社ト云フモノヲ是非通フサナケレバナラス其法律ノ一箇所ニハ修正ヲ加ヘナケレバナラスト云フ頑固ノ論者ガアツタモノデスカラ修正論ヲ主張スル者モ成ルベク直接ニ反對者ノ意見ニ反スルヤウナコトハ言ハレヌ、間接ニ歐羅巴ノ諸國デ認メテ居ルヤウナ合資會社ノ組織ニ改メヤウト云フノデ修正ヲ加ヘタ、其修正ヲ加ヘマシタ結果ガ餘程奇妙ナコトニナツタト云フノハ固ヨリ當然デアアル、ソコデ現行法ノ合資會社ト云フモノハ實ニ精神ノ分ラヌ合資會社デアアル、又今日合資會社ノ組織ト云フモノハ數、澤山アルノデゴザイマス、ドウ云フ譯デ合資會社ヲ選ブカト云フト一方ニ株式會社ヲ設立スルニハ政府ノ免許ヲ得ルトカセ、取締ノ規定ニ從ハナケレバナラスト云フ不便ガアル、又一方ヨリ言ヒマスレバ株式會社ト同シヤウニ社員ノ責任ガ有限デアツテ恰モ株式會社ニ於テ株主ノ責任ガ有限デアアルガ如ク合資會社ノ責任ガ有限デアアルカラデ一方ニハ政府ノ免許其他監督ノ適用ヲ免レムトスル爲メ一方ニ社員ノ責任ガ有限トスルガ爲メ合資會社ヲ設立スル者ガ數多クアルダラウト私ハ想像スルノデアアル、ソコデ若シ社員ノ數ガ多クアリ、サウシテ其社員ノ責任ガ悉ク有限デアリ得ルナラバ法律ノ上カラ言ヘバ株式會社ト同シヤウナ取締ヲシナケレバナラスヤウナ會社組織デアアル、今日ノ合資會社中ニハ其實株式會社ノ組織ヲ選ンダ方ガ最モ營業上其都合ガ宜シ其目的トスル事業ノ爲メ都合ガ宜シト云フ爲メ今ノ取締ノ規定ヲ免レ有限責任ヲ利用スル爲メ合資會社ヲ選ンダト云フモノガ澤山アラウト思ヒマス、ソレラノ會社ニ對シテハ矢張法律ノ上カラ言ヘバ株式會社ト同シヤウナ取締ヲセネバナラス會社デアアルサウ云フヤウナ會社組織ト云フモノハ既ニ現行法ガ認メテ居ルト云フコトガ商法ノ精神ニ於テ甚ダ誤ツテ居ルノミナラズ其誤ツテ居ルモノヲ商法修正案ニ採用スベキ筈ガナイ、將來ニ於テハ現行法ニ認メテ居ルヤウナ合資會社ト云フモノハ認メナイ、尤モ既設ノ會社ハ最早將來ニ於テ新ニス、ソレカラ第二ニ何故ニ商法修正案ニアツテハ株式合資會社ト云フヤウナ組織ヲ認メタカト云フ御尋デアリマスガ是ハ外國ニ於キマシテ以前ハ株式合資會社ト云フモノガ非常ニ數多ク澤山アツタ、ソレハドウ云フ譯デ數多クアツタカト云フト一時此株式會社ノ設立ニ就テハ現行法ト同シヤウニ殆ド諸國ノ法典皆其株式會社ノ設立ニハ政府ノ免許ガ必要デアアルト云フコトデアツタ、而シテ政府ノ免許ヲ以テ設立スル所ノ株式會社デアアルカラ業務ノ執行ニ於テ裁判所若クハ行政官廳ガ干涉スルコトガアツテ其免許ヲ得ル手續ガ面倒デアリ、或ハ業務ノ執行ニ干涉サレルノガ煩ハシイト云フ方ノ點カラ實ハ株式會社ヲ選ブノガ最モ適當デアアルト信ジテ居ル場合デモ株式合資會社ト云フ組織ヲ選

ンデ其煩雜ヲ免レムトシタノデア、ソレガ爲ニ株式合資會社ノ組織ガ非常ニ多クナツタ、所ガ殆ド各國ノ現行商法中ニ株式會社ハ政府ノ免許ハ要ラヌト云フコトニ改メタ以上ハ其以前ニ設立シテ居ル株式合資會社ガ段々ニ組織ヲ變ヘテ株式會社トナリ、又株式合資會社ヲ設立スルコト云フ數ガ減ツテ來タノデアリマス、併ナガラ此株式合資會社ノ組織ト云フモノハ數人ガ無限責任ヲ負ウテ中樞トナツテ營業ノ任ニ當ル、サウシテ是ニ株式ノ募集ニ依テ集ル所ノ大ナル資本ヲ預ケルモノデアリマスカラ非常ニ信用ノアル場合デナケレバ決シテ株式合資會社ト云フモノヲ起スコトガ出來ナイノデアリマスカラ今日デハ外國デモ株式合資會社ノ數ハ誠ニ少イノデアリマス、併ナガラ株式合資會社トシテ成立ツテ居ルモノニハ非常ニ良イ會社ガアル、其會社ノ業務ト云フモノハ非常ニ繁昌シテ居ルト云フコトデアリマス、ソレデ此ノ如キ株式合資會社ト云フモノガ商法修正案ニ認メタカラト言ウテ商法ノ執行ト共ニ數多ノ斯ノ如キ會社ガ起ルデアラウト云フコトハ無論想像セヌノデアリマスガ免ニ角非常ニ信用ヲ以テ成リ立ツ會社デアラカラ之ヲ用井タ所ガ便利ハアラウトモ決シテ不便ハナイ利益ガアラウトモ決シテ害ガアルベキ筈ガナイト云フノデ之ヲ認メタノデアリマス、尤此會社組織ヲ認メルニ就キマシテハ法典調査會ニ於キマシテモ隨分綿密ニ調査ヲ致シマシタシ、尙全國ノ商業會議所ニモ諮問致シマシタノデアリマスガ其諮問ニ對ヘルニハ斯ノ如キ會社ヲ認メテ貰フ方ガ實際ノ商業上便利デアアル、會社ノ新ラシイ組織ヲ認メルト云フコトハ今日最モ必要デアアル、總テ其類ノ答申書ヲ得タノデアリマスカラソレニ依テ株式合資會社ト云フモノヲ修正案ニ認メタノデアリマス

○名村泰藏君 百六十七條デチヨット……但書ノ所ニ任期ノ定アル場合ニ於テ、正當ノ理由ナクシテ其任期前ニ之ヲ解任シタルトキハ其取締役ハ「云々」、任期ノ定アルト云フコトハ分ツタ話デアリマスガ、任期ノ定ナイト云フ場合ガアリマセウカ取締役ガ任命サレルニハ定款ニモ大抵何年ト云フコトガ書イテアリマス、其定款ガナイトシテモ三年ヲ超ユルコトハ出來ヌト云フコトニナツテ居リマスカラ先ヅ三年ト見テ宜イト思ヒマス、ドウ云フ場合ニ於テ任期ノ定ナイト云フ場合ガアリマセウカ

○政府委員(田部芳君) 成程實際ニ於テハ定款ニ於テ任期ヲ定メテアリマセウカラ、マルデ任期ノ定ナイト云フコトハ事實ニ於テハ或ハナイカ知リマセヌガ、併シ理窟ニ於テハ任期ヲ定メズシテ置クト云フ場合モアリマセウカラ若シナイトキハドウスルト云フコトヲ此所デ豫想シタノデ假ニ此法律ニ三年ヲ超ユルコトヲ得ズト云フコトガアツテモソレガタメニ當然三年ニナルト云フコトヲ決定ハ出來ヌト思ヒマスカラ理論上デハ任期ノ定ナイト云フコトハアリ得ルデアラウト思ヒマス

○名村泰藏君 サウスルト任期ノ定メテナイ場合ハ解任シテモ一向差支ハナイ但書ノ適用ハシナイト云フノデアリマスカ
○政府委員(田部芳君) 左様デゴザイマス

○辻新次君 此二百四十四條デスガ「合資會社ニ於テ」ト云フノハ本章ノ株式合資會社ニ就テ云フノデアリマス、或ハ一般ノ合資會社ヲ云フノデアリマス、其意味ガ明カデナイ様デアリマスカラソレヲ一應承ツテカラ尙ホ引續イテ御尋ネ致シタイト思ヒマス

○政府委員(田部芳君) 此二百四十四條ニ於テ合資會社ト云フノハ此修正案ノ合資會社ヲ云フノデ株式合資會社ノコトヲ云フノデアリマセヌ

○辻新次君 サウスルト前ノ方ニ株式會社ノ條項ガアリマスガ彼ノ所デ云ハズシテ此五章ノ株式合資會社ノ所デ云フノハドウ云フ譯デアリマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ極ク簡短デアリマスガ、二百四十四條ノ全部ヲ御覽ニナレバ直グニ御分リナリマス、全體前ノ合資會社ノ所デ總社員ノ同意ヲ要スル事項ガ簡短ニ擧ゲテアレバ此所ニモ其通りヲ書ケバ宜イノデアリマスガ、ソレガアリマセヌカラ「合資會社ニ於テ總社員ノ同意ヲ要スル事項」ト書キマシタノデ、株主總會云々ト云フコトハ本章ノ株式合資會社ニ於テノコトヲ規定シマシタノデ、合資會社ト云フコトハ此所ニ引張り出スノデアリマセヌ、唯其事項ヲ簡短ニ書キ現スタメニ出テ來タデアリマス

○名村泰藏君 ソレカラ一ツ百八十八條デスガ「監查役ハ其破産又ハ禁治産ニ因リテ退任ス」是ハ當然ノ話デアリマスガ、取締役ノ上ニハ此箇條ガ見ヘヌヤウデアリマスガ取締役ハドウナルノデアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) 取締役ハ法定代理人デ民法ノ規定ニ因ッテ當然破産又ハ禁治産ノ場合ニハ代理權ガ缺ケル、併シ監查役ハ法定代理人デハナイ、唯監督ヲスルダケデアリマスカラソレデ是ダケノ明文ガ要ルノデアリマス

○名村泰藏君 アナタノ御辯明ハ分リマシタガ、チヨット見タ所デ疑ノ起リサウナコトデアリマスガ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレハ疑ノ起ルベキ筈ハナイト思ヒマス、取締役ガ會社ノ法定代理人デアルト云フコトハ今日ニ於テモ極ク明瞭ナ事柄デ誰モ疑フ容レル者ハナイ、從ッテ民法ノ代理ノ規定ハ法定代理ニモ委任代理ニモ通ズルト云フコトハ明瞭デアリマスカラ、ソレト重複スルコトハ商法ニハ總テ掲ゲテナイノデアリマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 二百六十三條カラ四百三十三條マデ第三編全部ヲ問題ニ供シマス

○辻新次君 此二百六十八條デスガ「代理權ハ本人ノ死亡ニ因リテ消滅セヌ」ソレデ委任スルトキニ拙者ノ生存中委任スルト云フコトハ委任狀デ出來ヌコトハナイデセウナ、若シサウ云フコトガ出來ルトシタナラ委任者ガ死ンダトキニ其代理權ヲ止メルト云フコトハ出來得ルノデアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) 無論其契約ハ出來ルノデアリマス

○辻新次君 第五章ノコレハ「ナカダチ營業」ト讀ムノデアリマセウガ、私ハ斯ウ云フコトヲ知リマセヌガ、チヨイト御尋ネシテ置キタイ今仲買仲買ト

言ッテ居リマスナ、東京ナドデ多ク……ア、云フ者ガ皆此中ニ含ムノデスカ、此總名ヲ仲立營業ト斯ウ云フ譯ニナルノデセウナ

○政府委員(岡野敬次郎君) 仲立人ト云フコトハ三百五條ニ其定義ガ掲ゲテアリマス「他人間ノ商行爲ノ媒介ヲ爲スヲ業トスル者」媒介ノスル者ガ仲立營業、ソレカラ媒介ノスルノミナラズ進デ例ヘバ甲ノ者ガ乙ノ委託ヲ受ケテ丙ト契約ヲスル、サウシテ其契約上ノ責任ハ丙ニ對シテ甲ガ權利ヲ行ヒ丙ハ亦甲ニ對シテ權利ヲ行フコトハ三百三十三條ニ認メテアル所ノ問屋ト云フモノニ當ルノデアリマス、現行法ニゴザイマス所ノ他買人ト云フモノハ三百三十三條トソレカラ三百二十條ト此二ツヲ合セタモノニ當ルノデアリマス、ソレカラ現行法ノ仲買人、現行法ノ仲立人ハ此修正案ニ認メテ居ル所ノ三百五條ニ當ル、今日仲買人ト稱シテ居ル者ニハ矢張り一様アル様デアリマス、法律上ノ性質カラ云フト媒介ノミヲスル者モ中ニアル様デアリマスガ多クハ私ノ考デハ問屋營業ノ中ニ入ルベキ者ガ現行法ニ云フ仲買人デアアル様ニ思ヒマス、法律上ノ性質カラ申シマスレバ營業ノ媒介ノミヲスル者デ他人ニ對シテ權利義務ヲ自己ニ負擔シテ居ルト云フコトデ仲立人ニナル、仲立人ト問屋ニ類スル商賣トヲ區別スル管デゴザイマス

○名村泰藏君 三百七十條デアリマスガ、倉庫營業者ハ競賣代金ノ中ヨリ競賣ニ關スル費用ヲ受寄物ニ課スル税金トアリマス、此租稅ヲ納ムル品ハドウ云フ種類デアリマスカ、チヨット伺ヒタイ

○政府委員(田部芳君) 甚ダムヅカシイコトデアリマスガ此租稅ト云フモノハ或ハ海關稅ヲ納ムル場合モアリマセウシ或ハ其市ニ入レル入市稅モ拂ハナケレバナラヌト云フコトガアリマス、ソレハ法律カ或ハ其他命令ニ依テ極ッテ居ル場合ガアラウト思フ、一々今御答スルコトハムヅカシイト思ヒマスガ、何レ分ルコトデアラウト思ヒマス

○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデハ第四編

○名村泰藏君 四百五十二條ソレト五百十五條ヲ御覽下サイ、此支拂人住所地方以テ其支拂地トスル茲ニハ住所地方ケノコトデアリマスガ拒絕證書ノ所ニ行クト「拒絕者ノ營業所住所又ハ居所ノ知レサル場合」トアル、四百五十二條ニモ居住地ト云フモノガアル方宜クハナイカト思ヒマスガ、茲ニハ無クテモ宜イノデアリマスカ、兩方同ジ様ナ事柄ノ様ニ思ヒマスガ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ御尋ノ第五百十五條ノ五號ハ此案ノ四百四十二條ト對シテアル、四百四十二條ハドウ云フコトガアルカト云ヒマス「利害關係人ニ對シテ爲スヘキ行爲ハ其營業所若シ營業所ナキトキハ住所又ハ居所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス」斯ウ云フコトガアリマスノデ、四百四十二ノ規定ガアルガ爲ニ五百二十五條ノ第五號ハ之ニ對スルタメニ必要デアアル、御尋ニナリマシタ四百五十二條ニ居所ガアッテハ困ル、矢張り手形全體ニ付キマシテ隨分手形ニ記載シテアルコトニ最モ效力ヲ持ツコトニナリマス、而シテ效力ヲ持ツコトガ確定ノモノデナケレバイカヌト云フコトハ全體

手形ノ安全、手形ノ利益ヲ圖ルト云フコトノ上ニ付テ必要デアアル、ソレデ第四百五十二條ニ比較ナサルヨリハ四百四十二條ト比較ナサル方ガ一番御分リガ早カラウト思ヒマス

○小幡篤次郎君 此第四百十四條ノ火災保險ノ所デゴザイマスガ「被保險者ハ損害ノ防止ヲ力ムルコトヲ要ス但之カ爲メニ必要又ハ有益ナリシ費用及ヒ填補額ガ保險金額ニ超過スルトキト雖モ保險者之ヲ負擔ス」斯ウ云フコトガゴザイマスガ消防入費ナドト云フモノガ澤山掛リマシテ其保險ハ例ヘバ千圓ノデアッテ消防入費ハ千五百圓モ掛ツタト云フトキモ矢張り保險者ハ其一千五百圓ヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトニ解セラレヤウデゴザイマスガドウデアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 御解釋ノ通りニ第四百十四條ノ規定ハ保險金額ノ超過スル場合ニモ總テ保險者ガ負擔スルコト云フコトニシタノデ實際ニ於テドウデアアルカト申シマス消防ノ費用ガ保險ニ附シタ物ノ價格ヲ超ユルト云フコトガ有リ得マセウカ、例ヘバ一萬圓ノ家ヲ保險ニ附シタトキ一萬圓ノ家ノ價格ヨリモ以上ノ消防費ガ掛ルト云フコトハ實際アリ得ベカラザルコトト私ハ考ヘル、ソレハ別問題トシマシテ何故ニ之ガ保險金額ニ超過スル場合デモ保險者ガ負擔スルカト申シマスルコト此第四百十四條ハ被保險者ニ一ツ義務ヲ負ハシテアル、被保險者ハ損害ノ起ラヌヤウニ力メナケレバナラヌ被保險者自身ヨリ打棄テ、置イテ燒ケテ仕舞ヘバ保險會社カラ保險金ガ貰ヘルカラ打棄テ、置クカモ知レヌ、其結果ドウカト云フト保險者ノ負擔ガ大クナルノデアアル何故ニ被保險者ニ此義務ヲ負ハシタカト云フト法律ノ上カラ云ヘバ防ギ得ル損害ヲ防ガズニ置イテ打棄テ、置イテ其損害ヲ保險者ニ歸スルト云フト保險者ニ取ツテ甚ダ迷惑デアアル、ソレ程マデニ損害ノ填補ノ責任ヲ負ハセル必要ガナイカラ損害ノ大キクナラヌヤウニ成ルタケ損害ノ小サイヤウニ義務ヲ負ハシテ居ル即チ保險者ノ利益ノ爲メノ規定デアアル、ソコデ被保險者ト云フモノハ固ヨリ自分ノ所有物ハ燒キタクナイト云フ考ハアリマセウケレドモ併ナカラ商法ノ規定ノ上カラ言ヘバ金額ニ依ッテ見積ツテアルノデ被保險者自身カラ云ヘバ燒ケテ仕舞ヘバ金ヲ貰ッテ再ビ買ヒサヘスレバ宜イト云フノデ打棄テ、置ク真ガアル故ニ此義務ヲ負ハシタ、又保險者ハ被保險者ヲシテ其義務ヲ履行サセヤウト云フニハ保險會社ノ利益ヲ圖ッテ損害ノ防止ヲ力メルニ拘ハラズ其費用ト云フモノハ保險會社ニ於テ之ヲ負擔セヌト云フコトハ保險ノ理論ニモ副ハズ又保險者ノ責任トシテモ甚ダ理屈ガナイ、保險者ノ利益ヲ圖ラセルガ爲メニ此規定ヲ置イテ其費用マデモ皆被保險者ガ負擔スルコトニナッテ居ルノハ甚ダ被保險者ニ取ツテ迷惑デアアル又理屈上許スベカラサルコトデアッテ特ニ保險金額ヲ超過スルトモ之ヲ負擔スルト云フコトニシタ、外國ノ法律ヲ調ベマシテモ一トシテ此規定ノナイ所ハナイ、總テ保險者ノ負擔トシテ居ル又保險者ノ負擔トシナケレバナラヌト云フ理由ハ何レノ國モ私ガ唯今述ベタト同ジコトニナッテ居リマス

○小幡篤次郎君 御尤モノヤウデゴザイマスガ併シ此ノ保險ヲ附シマス金額ト申スモノハ大抵被保險者ト保險者トノ間ニアツテ保險者ハ二千圓ノ價格ノ物ヲ例ヘバ千五百圓トカ千八百圓トカシカ保險シナイノガ定規デゴザイマスカラ、シテ見レバ其自ラ燒ケテモ構ハナイ保險金ヲ取レバ宜イト云フ考ハ餘リドウモ人情ヲ穿テ過ギタ考デハナイカト思ヒマス、大抵自分ノ家ガ燒ケテモ保險金ヲ取レバ宜イト云フヤウナコトハ稀ナコトデソレヲ防グガ爲メニ金ヲ幾ラ費シテモ保險會社カラ取レルト云フコトニナリマシタナラバ其間ドレ程ノ失費ガ掛ツタトカ随分ドレ程掛ツテモ宜イ勘定デゴザイマシテ取レル覺ガアルノデゴザイマスカラ保險會社トノ間ニ始終紛紜ヲ起スト云フ考ガアリサウデゴザイマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 唯今御尋ネニナリマシタ第一點ニ付キマシテハ第四百十四條第二項ニ「第三百九十一條ノ規定ハ前項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス」此三百九十一條ニドウ云フコトガアルカト云フト「保險價額ノ一項ヲ保險ニ附シタル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ハ保險金額ノ價額ノ割合ニ因リテ之ヲ定ム」ト云フコトニナリマシタ居リマスカラ例ヲ以テ御話申セバ一萬圓ノ家ヲ保險ニ付シタル其價額ハ一萬圓デアル、而シテ保險金額ハ契約上五千圓ニ極メタル場合ガアル此場合ニ於テ若シ全部燒失シタルトキハドウ云フコトニナルカト云フト五千圓ノ保險金ヲ拂ハナケレバナラヌ、ソレカラ五千圓ダケノ損害デアッタトキハ保險者ハドレダケ負擔スルカト云フト詰リ二千五百圓ヲ拂フ、ソレハ三百九十一條ノ規定カラ出テ居ルノデ即チ保險價額ノ一部ヲ保險ニ附シタル場合デアルカラ其場合ハ保險者ハ定メタル所ノ保險價額ニ對シテ拂フ即チ此三百九十一條ノ規定ガ四百十四條ノ但書ノ場合ニ準用シテアルノデアリマスカラ今一萬圓ノ家ヲ保險ニ付シタル場合ニハ五千圓ノ損害ガ起ル、其五千圓ノ損害ノ防止ノ費用ヲ拂フニ付テハドレダケ保險者ノ負擔ニナルカト云フト矢張り今ノ例ニ付テ申セバ其費用ノ半額ダケヲ保險者ガ負擔スルト云フコトニナルノデアリマスカラ一萬圓ノ家ヲ五千圓ノ保險ニ附シテ置イタ、是ハ一萬圓ノ財產ヲ保護スルタメニ保險ニ附シタルノデ、其必要又ハ有益ト認メタル所ノ費用ヲ盡ク保險者ノ負擔ニ歸スルト云フ精神デナイト云フコトハ第二項ノ精神カラ見テ分ルデアリマセウ、成ル程場合ニ依レバ幾ラ費用ガ掛ツタドレダケノ費用ヲ費シタルト云フヤウナコトハ或ハ議論ニナリ得ルコトデアリマセウ、併ナガラ其議論ハ唯四百十四條ニ就テノミ特別ニ起ル爭デハナク被保險物ノ一部ガ損失ヲ被ツタ時分ニ其一部ノ損失ト云フノハドレダケカト云フコトニ就テハ被保險者ハ大イナル損害デアルト主張シ保險者ハ小サイ損害デアルト主張スルトキハ必ズ爭ガ起ル、若シ其損害ノ見積ニ就テ保險契約ハ何時デモ全損ノ場合ニ限ルモノトセヌ以上ハ必ズ雙方デ其損害ノ大小ヲ主張シテ爭ガ起ルト云フコトハ當然有リ得ルコトデ、サウ云フ爭ノ起リ得ベキコトハ必ズ保險バカリニ限ラヌ、例ヘバ損害ノ生シタル場合ニ損害賠償ヲ訴ヘルトキニ被害者カラハ一萬ノ損害デアルト主張シ加害者ハ五千圓ト

主張スルト云フコトハ幾ラモアリ得ル爭デ、今ノ四百十四條ニ就テ特ニ起ル爭デハナイ、四百十四條ニ就テノ特別ノ御心配デハナカラウト思ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 必要又ハ有益ノ費用トアルカラ幾ラ費用ガ掛ツテモ拂ハネバナラヌト云フコトハナイノデ、御話ノ如キ場合ガアツタナラバ多分必要ナ費用ガ加ハツテ居ルノデアラウ、必要又ハ有益ト云ヘバ千圓ノ價ノモノ、損害ヲ防止スルタメニ千五百圓モ費スト云フコトハ有ルマイト思ヒマス

○小幡篤次郎君 必要又ハ有益ナリシ費用、例ヘバ消防人足ヲ頼ンダト云フヤウナコトノタメニドレ程ノ費ガ掛ルカ或ハ以前ニハ大キナ呉服屋ナドハ幾ラノ金ヲ出スカラ此家ノ燒ケルノヲ留メテ呉レト云フ約束ヲシテ防イダ例ガ幾ラモアリマスガ、斯ウ云フヤウニ急ニ保險會社カラ拂ハネバナラヌト云フコトニ極ツテ居ツタナラバ費用ハ客マナイカラ此家ヲ是非防ギ止メテ呉レルヤウニト云フ契約モ出來ヌコトハナイデアリマセウ、ワザワザ斯カル苦情ノ起リ易イ箇條ヲ掲ゲナクテモ宜ササウニ思ヒマス

○政府委員(岡野敬次郎君) 御話ノヤウナコトハ随分例ノアルコトデ大丸ノ燒掛ツタトキニ幾ラカ金ヲ出シテ堀モ燒ケヌヤウニシタルト云フ例モアリマス、他ニモサウ云フ例ハ澤山アリマセウ、併シサウ云フ場合ハ寧ロドウカト云フト第一消防人足ニ金ヲ遣ルカラ消止メロト云フ契約ハ果シテ法律上有効ノ契約カドウカ分リマセヌ、消防夫ハ大丸ノ火ヲ防グタメニ設置セラレタ消防夫デハナイ、火事ノ廣ガラヌヤウニト云フタメニ設ケラレタ消防夫デアアルカラ特ニ二千圓遣ルカラ消止メテ呉レト云フ所ガ其契約ハ法律上有効デアアルカドウカハ問題デ私ナドハ寧ロ無効ト思フ、無効ナラバ御心配ハナイノデ、有効デアッタラドウカト云フト實際ニ於テハ若シ打遣ツテ置ケバ大丸ガマルデ燒ケテ保險會社ガ其全額ヲ拂ハネバナラヌガ、消防夫ニ拂フ金ガ方外ニ多ケレバ大丸モ亦サウ云フ契約ハシナイ筈デアアル且又非常ニ大キナ金額デアレバ必要又ハ有益ナリト云フコトハ言ヘナイ決シテ保險會社ガサウ云フ負擔ヲスルコトハナイデアラウト思ヒマス

○渡邊洪基君 今丁度小幡君ノ御問デアリマシタガ、斯ウ云フ疑モ起ル、大丸ニ限ラズ何處デモ其家ノ中ニ有ルモノ、損害ヲ防グタメニ例ヘバ我ニシテモ家ハドウデモ宜イドウモ建替ヘナケレバナラヌ家ダガ火事ノタメニ其中ニ有ル物其他ノ損害ガ多イタメニハモ見舞ニモ來ルシコチモ骨ヲ折ルノデスガ、サウ云フヤウナ場合ハドウデスカ、家ノ損害ハ五百圓デ澤山デアアル併ナガラ其家ヲ燒クタメニ二千圓モ三千圓モ損ヲスルカラ消防ニ頼ム、消防ニハ限ラヌ他ノ者ヲ頼ムト云フコトモアル、サウ云フ場合ハドウデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) ソレハ例ヘバ動產保險ノ場合ニ家ヲ燒イテ仕舞ヘバ其結果動產ノ損害ガアルカラ家ノ消防ヲスル、ソレカラ又家ヲ保險ニ附シタル場合ニ家ガ燒ケルト保險ニ附シテナイ動產ノ損害ガアルカラ之ヲ保護ス

ルタメニ消防夫ヲ頼ムト云フコトモアリマセウガ是ハ固ヨリ被保險物以外ニ
費シタモノデ保險者ノ負擔ト云フコトハアリマセウガ實際ニ於テ其費用ガ動
産ノタメニ幾何、家屋ノタメニ幾何デアルト云フコトハ甚ダ區別ノムヅカシ
イコトデソコラハ若シ争ニナレバ裁判官ノ認定ニ任スヨリ外ハナイ、ケレド
モ被保險物以外ニ費シタ費用ガ保險者ノ負擔ニナルト云フコトハ決シテナイ
ノデアリマス

○小幡篤次郎君 第四百二十八條ニ「保險金額ヲ受取ルヘキ者ハ被保險者、
其相續人又ハ親族ナルコトヲ要ス」ト云フ箇條ガアリマスガ、相續人又ハ親
族ト云フコトニ限ツタノハドウ云フコトデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此四百二十八條ノ規定ハ前議會ニ於テモ矢張り
委員會ニ於テ多少御質問モアツタコトト重ネテ精シク此所デ説明スル程ノコ
トモナイデアラウト思ヒマスカラ簡短ニ其理由ダケ申シマス、詰リ大體此修
正案ニ於テハ生命保險ト損害保險ト全ク別ニ見マシタ、別ニ見マス理由ト
云フノハ第一生命保險ト云フモノガ果シテ保險ト言ヒ得ルモノカドウカト云
フコトハ餘程議論ノアル點デ、我々ノ考デハ生命保險ト云フモノハ損害保險
ト同ジダケノ性質ヲ法律上備ヘテ居ルモノデハナイト云フ考デアリマス、デ
極ク簡單ニ申シマススト云フト損害保險ニ於キマシテハ此被保險利益ト云フモ
ノガナケレバナラヌ、其利益ト云フモノハ金錢ニ見積ルコトノ出來得ルモノ
デナケレバナラヌト云フコトハ第三百八十五條ノ規定ニ明ラカニ定マツテ居
リマス、ソレデアリマスカラ一萬圓ノ價格アル品物ヲ保險ニ付スル場合ニハ
一萬圓ヲ超ヘテ保險契約ヲ定ムルコトハ出來ナイ、ソレヨリ以上超ヘテ定メ
マシタ場合ハ即チ超過保險デアツテ其超ヘタ部分ニ對スル保險契約ハ無効デ
アル、所ガ其被保險ノ利益ト云フモノハ生命保險ノ場合ニ果シテ有リ得ルカ
ドウカト云フト分リ得ナイ、私ガ假リニ私ノ生命ヲ保險ニ付スル場合ニ會社
ハ實際五千圓ト云フノガ多クハ最高額ニシテ居リマスカラ其以上ハ出來ヌコ
トニナツテ居リマスガ理窟ノ上ニ於キマシテハ私ノ生命ヲ十萬圓ノ保險ニ付
シヤウガ百萬圓ノ保險ニ付シヤウガ差支ハ無い、從ツテ私ガ甲ノ會社ニ這入ッ
テ五千圓ノ最高額ノ保險ヲ付ケ又乙ノ會社ニ又五千圓ノ保險ヲ付ケ丙ノ會社
ニ入ッテ又五千圓ノ保險ヲ付ケタ、所ガ其契約ノ有効トカ無効トカ云フ論ハ
起ラナイ有効デアルニ相違ナイ、此點ニ付キマシテハ矢張り第一生命保險ト
損害保險ト同一視スベカラザルコトハ明ラカデアリマス、ソコデ損害保險ニ
於キマシテハ標準ヲ保險價額ニ取リマスガ生命保險ハ保險價額ニ標準ヲ取ル
コトハ出來ヌノデアリマス、例ヘバ損害保險ニ於キマシテハ私ガ他人ノ家ヲ
保險ニ付スルコトハ出來ナイケレドモ法律ノ規定ガナケレバ私ハ人ノ生命ヲ
保險ニ付シテ差支ナイ、損害保險ニ於キマシテ人ノ家ヲ保險ニ付スレバ其家
ガ焼ケヤウガ焼ケマイガ損害ハ無い、生命保險デハ損害ヲ極メルトカドウト
カ云フコトハ云ヘナイカラシテ他ニ何カ標準ヲ求メナケレバナラヌト云フコ
トニ歸著スルノデアリマス、其標準ニ付キマシテハ外國ノ法律デモ色々違ッ

テ居ル様デアリマス、デ營業ノ上カラ申シマスルト即チ保險會社ノ方カラ申
シマスレバ家ヲ保險ニ付スルノデアル、生命ノ保險ヲ付スルノデアル一定ノ
保險料ヲ拂ヒサヘスレバ統計表ノ上ニ於テ又營業ノ原則ノ上ニ於テ誰ガ被保
險者デアルト云フコトハ一向差支ナイ、私ガ他人ノ家ヲ保險ニ付シヤウガ又
他人ガ私ノ家ヲ保險ニ付シヤウガ全ク差支ハナイ、一定ノ保險料ヲ拂ッテ居
レバ、統計表ノ上ニ於テ何人死ヌトカ云フコトノ豫算ガ立ッテ居リマスルカ
ラ甲ガ死ヌデアラウトカ乙ガ死ヌデアラウトカ云フコトハ保險會社ノ營業ニ
ハ影響ガナイ、ソレデ保險契約ハ法律デ認メル所ガナケレバナラヌ、何トカ
別ニ標準ヲ極メナケレバナリマセヌ、ソコデ損害保險ハ損害ガ有リ得ルモノ
ヲ以テ認メ、生命保險ニ於テハ同一ノ標準ニ依リ能ハザルヲ以テ何トカ一ツ
ノ標準ヲ設ケナケレバナリマセヌ、ソコデ御參考ノ爲メニ外國ノ例ヲ申上ゲ
マス、外國ノハ契約者ノ利益ガ定メテアリマス、契約者ノ利益ト云フモノハ
金錢上ノ利益カ或ハ金錢以外ノ利益ヲ云フノデアルカト云フコトハ法律ニ明
文ガナイ、或ハ英吉利ノ法律ノ如キハ金錢上ノ利益ト云フコトニナツテ居リ
マスガ例ヘバ債權者ガ債務者ノ生命ヲ保險ニ付スル場合ニ其債權額ヲ限リ
シテ債務者ノ生命ヲ保險ニ付スルコトガ出來ル、一萬圓貸シテ居レバ一萬圓
ノ額マデハ債務者ノ生命ヲ保險ニ付シテ保險契約ヲ結ブコトガ出來ル様ニ
ナツテ居ル、所ガ保險契約ヲスル時分ニ一方ハ債權者デ一方ハ債務者デア
ルシテモ債務者ナルモノニ信用ガアレバ他日借金ヲ返シテ仕舞ヒ其借金ヲ返
シタ後ドウスルカト云フト借金ヲ返シテモ一定ノ保險料ヲ拂フテ居レバ他日
被保險者固ト債務者デアツタモノガ死ヌダ場合ニハ債權者タル契約人ガ矢張
リ其保險ヲ貰ラウコトガ出來ルコトニナツテ居ル、何故ニ契約成立ノ當時ニ
アツテ金錢上ノ利益ガナケレバナラヌ、金錢上ノ利益ノ存在ヲ必要トスルト
云フニ夫ハ算盤デハ云ヘナイ點デアリマシテ、若シ損害保險ト同視スルナラ
バ損害保險ト同ジ様ナ契約ヲ結ブ時分ニ利益ガナケレバナラヌ、保險金ヲ受
取ル時分ニ其利益ガ繼續シテ居ラナケレバナラヌ、生命ノ方ハ標準シテ金
錢上ノ利益ガ、保險金ヲ受取ル場合ニ其利益ガ存在セズトモハ理窟ハ無いノ
デ、何故生命保險ニ金錢上ノ利益ト云フコトガアルカト云フト御承知ノ通り
保險ハ海上保險カラ起ツタノデ海上保險カラ火災保險其他各種ノ保險ガ始マッ
タノデ生命保險モ自分ガ海上保險ニ必要トシテ居ル條件ナドノ爲メニ誤マラ
レテ例ヘバ金錢上ノ利益ガナケレバナラヌト云フコトヲ定メラレタモノデア
ル、金錢上ノ利益ト云フコトハ決シテ生命保險ニ於テ標準トスルコトハ出來
ナイ若シ金錢上ノ利益ヲ生命保險ニ必要トスレバ保險金ヲ貰フトカ何トカ云
フ金錢上ノ利益ガ存在シナケレバナラヌ、ソレハ今一ノ例デアリマスガ他ノ
金錢上ノ利益ト云フモノト承諾ト云フモノガナケレバナラヌト極メテアル所
ガアル、ソコデ此保險ノ理論カラ云フト承諾ハ何ノタメニ必要デアルカ分ラ
ヌ、承諾ノ有無ニ依ッテ保險契約ノ有效無効ヲ極メル標準トスルコトハ出來
ナイ、又實際身體検査ノ節保險ヲ契約スルニハ必ず被保人ノ豫メ承諾ヲ經ナ

カレバナラヌト云フコトデアルノデアリマスカラ承諾デ宜イト云フ例モアリ
或ハ承諾カ金錢上ノ利益ト云フ例モアル、又金錢上ノ利益ト承諾ト雙方ガ必
要デアルト云フ例モアルノデアリマスケレドモドウシテモ生命保険ト云フモ
ノハ利益ヲ外ニシテハ出來ルモノデアリマセヌ、ソコデ此修正案ニ於キマ
シテハ保險金額ヲ受取ルベキモノハ被保險者ノ相續人若クハ親族デナケレバ
ナラヌト云フ情愛ノ關係ト云フコトヲ生命保險ノ有効無効ヲ識別スル標準
ニシテデアリマス、且御承知ノ通り今日ノ現存ノ生命保險會社ト云フモ
ノハ果シテ西洋諸國ノ生命保險會社ノ如ク死亡精算表モ確カニスレバ豫定率
ト云フモノモ左マデ近イ中ニハ變動ガナイト言ヘルカト云ヘバサウ云フコト
ハ言ヘナイ無論死亡精算表ハ完全ナモノガ出來テ居ラヌト云フコトハ今日ノ
日本ハ誠ニ已ムヲ得ヌコトデアリマスカラ今日デハ仕方ガナイ、又生命保險
ト云フコトハ新シイコトデアリマスカラ初カラサウ完全ヲ望ムコトハドウシ
テモ出來ナイノデアリマス、又豫定率ト云フコトハ高クテ四分カ四分半位ニ
シカ見積リテ居ルノハナイノデアリマスカラ金利ハドウカト云フコト隨分安全ニ看
做シテ七朱位デアアル万一投機ノ事業デアレバ九朱ナリ一割ノ利益ヲ生ズル
コトガアル宛ニ角サウ云フ極、近代ノ事業デアリマシテ成ルベク今日ニ於テ
弊害ノ起ラヌヤウニ防イデ置キマセヌト將來ニ於テ生命保險ト云フモノノ發
達ヲ期スルコトガ出來ヌ、此四百二十八條ノ規定ハ理論ニ於テハ我々ハ正イ
ト云フ考デアリ、又附隨ノ理由トシテ斯ウシテ置キマシタガ賭博保險ナドト
云フモノガ起ルト云フト生命保險ニ於テモ其會社ノ社員ガ出張シテモ募集ガ
出來ヌト云フコトニナツテ保險ハ騙サレルモノデアアル、保險ハ危險ナモノデ
アルト云フ思想ヲ養フ結果ニナラウト思フ、サウ云フコトノ弊害ノナイヤウ
ニ將來ハ成ルベク生命保險ト云フモノハ恰ク日本全國ニ行ハレルヤウニスル
ノガ必要デアラウト思フ、ソレハ全ク附隨ノ理由デアリマスケレドモ一ツ
ノ利益ト見テ宜イト思フ、サウ云フ理由カラ四百二十八條ニ斯ウ云フ規定ヲ
置イタノデアリマス

○渡邊洪基君 「親族ナルコトヲ要ス」ト斯ウアリマスガ隨分今マデ弊害ガア
ルヤウデアアル例ヘバ女房ニ保險ヲ付シテサウシテ女房ガ死ンダ時ニ亭主ガ取
ルソレデ誠ニ怪ムベキ形迹ガ現ニ在ルノデソレハ何カ防グ方法ガ付イテ居リ
マスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) サウナリマス餘程ムツカシクナリマス例ヘバ
私ガ自分ノ生命ヲ保險ニ付スト云フトキハ私ガ死ンダ後ニ受取ルコトニナリ
マス、保險會社ガ保險料ヲ拂ツテ呉レバソレデ利益ヲ享ケル者ハ相續人デ
アル、若シ夫ガ女房ヲ殺スト云フ危險マデヲ想像スルト云フコトニ至ルト相
續人ガ或ハ親爺ヲ殺スト云フコトニナルカモ知レマセヌ、ソコマデニ至ルト
生命保險ハ到底認メルコトガ出來ヌト云フコトニ至ツテモ仕方ガナイト思フ
故ニソコマデノ心配ヲスルト際限ハナカラウト思ヒマス

○渡邊洪基君 ソレデ斯ウ云フヤウナコトハドウカ出來ヌカト思フ、女房ト

云フモノハ獨立シテ居ルモノデナイ、女房ノ厄介ニナツテ居ル亭主ト云フモ
ノハ……女房ガ活キテ居ナケレバ亭主ガ困ルト云フコトハ道理ニ於テナイ筈
デアアル、詰リソレカラサウ云フコトガ起ルダラウト思フデスガソコヲノ規定
ハナイノデスカ、ナケレバ仕樣ガナイガ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 御尤デアリマスルガ四百二十八條ノ第一項ニ
「親族」ハ云々ト云フコトハ是ハ民法ノ規定ニ依ツテ言ツテ居ル可ナリ廣イノ
デアリマス、夫婦ナドヨリハモツトズツト廣イ親族ハ三等姻族ハ六等ト云フコ
トニナツテ居ル、唯今御話ニナルヤウナ夫婦ノ如キ關係ニ付テ何トカ防グ途
ガナイカト云ヘバ寧ろ親族ニ付テノ弊害ヲ防グヤウニシナケレバナラナイ、
然ラバドウトカ云フ標準ニシナケレバ分ラヌカラサウ云フコトハ先ヅ親族ト
云フコトニシデアリマス

○山田卓介君 此親族ト云フモノハ廣イト云フ御話デアリマスガソレハドウ
マデ廣ウゴザイマスカ

○政府委員(梅謙次郎君) 是ハ血族デハ六等マデ尤モ血族ノ中ニ養子ナゾガ
這入リマス、姻族デハ三等、ソレカラ其他ニ配偶者即チ夫若クハ妻ソレダケ
ガ這入リマス

○小幡篤次郎君 何か保險ノ事ニ就キマシテ取締ノ勅令トカ何トカ法律デナ
イモノガ出ルト云フ御考ガアリマスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 保險會社ノ取締ニ付キマシテハ昨年議會ニ提出
シマシタ商法施行法案デゴザイマス、商法施行法案ノ第五十八條カラ七十六
條マデニ保險會社ニ關スル特別ノ規定ガ設ケテアリマス、實ハ我々ノ考デア
此議會ニ保險會社ノ取締ニ關スル法案ヲ提出スル考デアッタノデアリマスガ
法典調查會ノ事務ガ非常ニ澤山アリマシテ商法修正案モ商法施行法案、不動
產登記法案、其他船舶法案、船員法案等モ前議會ニ通過致シマセヌノデ更ニ
調査ヲ致シマシタ方ガ宜カラウト云フノデ熱心ニ其方ノ調査ニ掛ツテ居リマ
シタガ爲ニ保險會社ノ取締ニ關スルコトヲ規定スルニ至ラナカッタ、併ナガラ
今年ノ中ニハ先ヅ保險ノ取締ニ關スル特別法ヲ起草シテ此次ノ議會ニ提出
スルト云フ考ヲ持ツテ居ル故ニ一時間ニ合セノ規定ト致シマシテ失張不日提
出ニナリマスル商法施行法案ノ中ニ前施行法案ニ於ケル規定ニ類スル較ク精
神ノ同ジ規定ヲ設ケル積デゴザイマス、ソレデ一時取締ヲシテ完全ナル取締
ハ特別法ノ制定ニ讓ルト云フ考デアリマス、尤モ此法律ヲ施行スルニ付テ或
ハ施行細則ヲ極メル必要ガ起ルカモ知レマセヌ、其施行細則ハ勿論命令デ極
メルコトニシテ大體ノ重ナ規定ハ法律文ニ表ハス考デアリマス

○名村泰藏君 保險ノ所デ一箇所、第三百九十五條ニ「戰爭其地ノ變亂ニ因
リテ生シタル損害ハ特約アルニ非サレバ保險者之ヲ填補スル責ニ任セス」斯
ウアリマス、是ハ至極御尤デ法案デハ斯ウナクテハナルマイカト思ヒマス、所
ガ私ノ心配スルノハ大地震ガアツタトキニ大地震カラ生ジタ所ノ失火、ソレデ
燒ケタトキニ火災保險ト云フモノハ矢張り取締ガナイカラシテ損害ノ責ニ任

シナクテハナルマイ、然ルニ地震ト云フモノハ東京アタリニハ随分エライ地震ガアツテ東京ガ半分焼ケタト云フ地震モ以前アツタサウデス、サウ云フトキニ火災保險ガ其責ニ任ズルト云フコトハ到底出来ヌコトダラウト思フドウシテ此地震ニ依テ生シタル損害ト云フモノハ其責ニ任ジナケレバナラヌデアリマセウカ、其取除ヲ設ケラレナカッタ理由ヲチヨット承リタイ

○政府委員(岡野敬次郎君) 第一ニ此三百九十五條ノ規定ト云フモノハ所謂ル命令ノ規定デアリマセヌ、保險會社ガ戰爭ニ依テ生シタル損害デモ負擔スルト云フコトヲ契約スレバ無論其契約ハ有效デアル、又三百九十五條ニ舉ゲテナイ原因ニ依テ生シタル損害デモ保險會社ガ負擔セヌト云フコトヲ契約スレバ其契約モ有效デアル、火災保險ニ就テモ同ジコトデ、地震ニ依テ生シタル損害ト云フモノハ地震カラ火事ガ起ツタ、其火事カラ起ツタ損害ハ保險會社ガ其責ニ任ジナイト云フ契約ヲシテモソレモ有效デアル、地震ノミデハナイ今日ノ保險會社ノ規定ヲ見ルトアレ程マデニ責ヲ逃レル途ヲ付ケテアツテモ能ク之ニ應ズル被保險者ガアルト思フ、併ナガラ法律ニ斯ウ云フ規定ヲ設ケテハナラヌト云フコトハ少シモナイカラ無論其契約上有效デアル、何故ソレナラバ地震ノコトヲ四百十九條ニ掲ゲナカッタカト云フト四百十九條ノ精神ハ地震ノミデハナイ、總テ火災保險デアルカラ原則トシテハ原因ノ如何ヲ問ハズ火災カラ生シタルモノハ皆其責ニ任ズルト云フ主義ヲ執ツタノ場合ニ依テハ地震ノミデハナイ落雷ノコトモアラウシ其他第三者ガ放火シタル場合ニ依テハ地震ノミデハナイトカ、或ハ自火ノ場合ニハ責任ガナイトカ云フコトハ會社ノ自由ニ任セルノデ、ソレハ營業上場合ニ依テハ其取除ヲ設ケル必要ガアラウ、ソレデ一々舉ゲルノハ法律トシテハ不穩當デアリ又舉グル必要モナイカラ四百十九條ハ原則ダケヲ掲ゲテ他ノ除外例ハ契約ニ一任スルト云フ主義ヲ取ツタノデアリマス

○辻新次君 唯今岡野サンノ御話ガアツタノデ尙ホ少シ考ガ起リマシタガ、今ノ四百十九條デチヨット一應御尋ネシテ置キタイ、例ヘバ地震ガ原因トナツテ起ツタ火事ニハ保險會社ハ保險金ヲ拂ハヌト云フコトヲ保險會社ト被保險者ト約束ノ上デサウ云フコトガ必要ナラバ極メレバサウ云フコトハ出来得ルデアラウト云フ御答ノヤウニ聽取リマシタガサウシテ見ルト四百十九條ニハ餘程抵觸シハセヌカト思フヤウニ感シマスガ「火災ニ因リテ生シタル損害ハ其火災ノ原因如何ヲ問ハス保險者之ヲ填補スル責ニ任ス」此火災ノ原因如何ヲ問ハズト云フコトハモウ幾ケタモノナラバドウデモ其責ヲ免レヌト云フコトヲ言フテアルノデ今ノ御答ニ依ツテ見ルト餘程變ナモノニナツテ此法律ノ精神ヲ達スル譯ニハ行カヌト云フヤウナコトニナリハシマセヌカ、又今アナタハサウ云フヤウナ一己ノ御考ガアツタ所デ此法律ヲ實行スルモノハ、現ニ私デモ此法律面ヲ讀ムト火災保險會社ガ出来テサウ云フ規定ヲ設ケルト云フトキニハ或ハ設ケサセヌト云フコトヲヤルカモ知レマセヌ、又ヤル方ガ或ハ當然カト思ヒマスガ其邊ヲモウ一應……

○政府委員(岡野敬次郎君) 私ハ四百十九條ニ對スル除外例ヲ契約ニ依ツテ定メルコトハ出来ルデアラウト云フコトヲ申シタノデハナイ、出来ルト云フコトヲ申シタノデ、詰リ「火災ノ原因如何ヲ問ハス」ト云フコトハ此文字ニ重キヲ置クト云フコトデハナクシテ四百十九條ノ規定ソレ自身ガ反對契約ヲ認メナイ規定デアルヤ否ヤト云フコトニ歸スルノデ、ソコデ三百九十五條ノ場合ノミナラズ其他ノ場合ニ於テ或ハ保險者ガ其填補ノ責ニ任ズルトカ任ゼヌトカ云フコトヲ澤山極メテアリマスガ其任ズル任ゼヌト云フコトハ若シ特別ノ契約ガナカッタナラバ保險者ガ責ニ任ジナイトカ任ズルトカ云フ規定決シテ反對契約ヲ許サナイト云フ規定デアリハナイ故ニ四百十九條モ同ジ趣意デ、若シ火災保險ニ就テ保險者ト被保險者ノ間ニ於テ何モ特別ノ契約ヲセヌトキハ四百十九條ノ規定ノ適用ヲ受ケルカラ地震ニ依テ生シタル火災デアルカラ責任ハナイト云フテモ其答辯ハ無論採用スベキコトデナイ、唯特別ノ契約ヲスレバ四百十九條ノ規定ニ反スル契約ヲモ許スト云フコトヲ申シタノデ、何故ニ「其火災ノ原因如何ヲ問ハス」ト云フ文字ヲ使ツタカト云フト是ハ文字上カラ見ルトキツイ文字デアアルガ單ニ「火災ニ因リテ生シタル損害」ト書クト、其火災ガ損害直接ノ原因トカ間接ノ原因トカ云フ疑ガ起ツテ即チ地震カラ火事ガ起リ火事カラ損害ガ起ツタト云フコトデアルト、ソレハ火災ニ因テ生シタル損害デアアルカラ地震ニ因テ生シタル損害デアアルカト云フ疑ガ起ルカラ「其火災ノ原因如何ヲ問ハス」ト云フコトヲ殊更ニ加ヘタノデ、此文字アルタメニ反對契約ヲ許サヌト云フ趣意デアリハナイデアリマス

○政府委員(梅謙次郎君) チヨット申添ヘマスガ民法商法ナドノ規定ハ申スマデモナク當事者ノ意思ニ依ツテ成リ立ツ行為ガ最も多イノデ所謂ル命令規定ト云フモノハ他ノ公法上ノ規定ニ比ベマス極メテ少ナイノデ、ソコデ法典調査會デ民法商法ヲ起草スル際ニ始ハ成ルベク各規定ニ就テ其規定ニ反對ナルコトヲ契約其他當事者ノ意思デ定メルコトガ出来ルカドウカト云フコトヲ書カウトシテ見タ處ガ非常ニ煩ハシイ、反對ノ契約其他當事者ガ反對ノ意思ヲ以テ定メルコトノ出来ル性質ノ規定ノ方ガ非常ニ多イノデドウモソレガ非常ニ煩ハシイカラ一ツ所ニ纏メタ方ガ宜カラウト云フノデ民法ノ九十一條ニ「法律行為ノ當事者カ法令中ノ公ノ秩序ニ關セサル規定ニ異ナリタル意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ」斯ウ云フ一條ヲ設ケテ各條ニ於テハ大抵皆反對意思ヲ容ル、ト云フコトヲ明カニ書クコトハ止メタノデアリマス、唯規定ノ性質上命令ノ規定デアルケレドモ是ダケノ事柄ニ就テハ反對ノ意思ヲ容レル、又ハ其規定ガ果シテ所謂其公ノ秩序ニ關スルモノデアルヤ否ヤト云フコトノ最も不明ナル場合ニ於テハ特ニ反對ノ意思ヲ容レルト云フコトガ定メテアリマスノモ間ニハアリマスガ、他ニハサウ云フ例外ヲ明ニ書カヌコトニナツテ居リマス、唯今ノ問題ノ如キハ即チ九十一條ニ當テ、見マスルト殆ド一目瞭然、何モ其保險會社ガ被保險者ニ對シテ餘計金ヲ拂フノ公益デアアル少ク金ヲ拂フノ公益デアアルト云フコトハナイ、是ハ雙方ノ契約デ

ダケノ條件ナラバ保險シテモ宜シイ、是ダケノ條件ナラバ保險ヲシテ貫ヒタ
イト云フ自由ノ意思デ成立スルモノデアリマス、寧ロ反對ノ意思ヲ容レナ
イト云フ明文ノナイ限りハ民法ノ第九十一條ニ依テ之ニ異ツタル意思ヲ表示
スレバ其意思ニ從フト云フコトハ極メテ明瞭デアラウト信ジマス

○委員長(侯爵黒田長成君) 第五篇五百三十八條カラ終マデ

○名村泰藏君 此前三私ハ御尋シマシタガドウモ今ニ分リマセヌガ、五百四
十六條ニアル所ノ各共有者ノ持分ノ價格、此船舶ノ價格ノ極メ方ハ勅令ニデ
モ御示シナリマス、又細則ニデモ御示シナリマス、ドウモ船舶ノ持
分ト云フコトニ付キマシテハ隨分定メ方ガムヅカシイ様ニ承ツテ居リマス
ガ、今度ハドウ云フ風ニ此持分ノ定メ方ハ極メラレマセウカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此船舶ノ持分ト云フコトハ共有者ノ持分ト云フ
モノガ民法ノ共有ノ所ニ規定シテアリマス、若シ持分ノ價格ガ分ラヌナラバ
均一ノモノト看做スト云フコトニナツテ居リマス

○名村泰藏君 私人ノ尋ネ方ガ惡カッタカモ知レマセヌガ、一體船舶ノ持分ト
云フモノハドウ云フ風ニ御定メニナル譯デアリマス、例ヘバ伊太利ダツタ
カ何處カ船舶ノ價ヲ幾分ニ分ツテ、其幾分ガ一ノ持分トカ、分チ方ガ面倒ニ
聞イテ居リマスガ、コチラデハドウ云フ風ニ御定メニナリマス、十分申上
グルコトモ出來マセヌガ……

○政府委員(岡野敬次郎君) 大概分リマシタ、共有者ノ場合デアリマセヌト
御尋ノ様ナ問題ハ起リマセヌ、何レ共有ノ場合ニ限ルノデアリマス、ソコ
デ共有ト云フコトハ船舶ガ一ツノ目的ダツタ一ツシカ目的ガアリマセヌ、例
ヘバ甲乙丙ノ三人デ一ノ船ヲ共有シテ居ルト或ハ共有者間ニ於テ甲ハ三分ノ
一、乙丙モ悉ク三分ノ一持ツト云フコトハ極メルコトモアリマセウ、又場合
ニ依テハ甲ノ持分ハ乙丙ノ持分ヨリ多クアルコトハ極メルコトモアリマセ
ウ、ソレ等ニ至ツテハ別段命令ト云フモノヲ踰ズシテ法律ノ規定ヲ其儘施行
シテ一向差支ナイ積リデアリマス、船舶ハ一ツノ持分デアアルカラ甲ハ船骨ヲ
持ツトカ乙ハ船ノ先ダケ持ツト云フコトハ想像スルコトハ出來マセヌカラ
ツモ持分ト云フモノハ一ツデアツテ甲ハ何分ノ一乙ハ何分ノ一丙ハ何分ノ一
ト極レバヨイ、若シソレガ極リマセヌケレバ均一ノモノト看做シマス、御話ノ
様ナコトハ私ハ伊太利ノコトハ存ジマセヌガ、英吉利ニ於テハ法律ニ極ツテ
居リマス、船舶ノ持分ハタシテ六十四デアリマスカ極ツテ居ル、ソレヨリ細
カニ分ケルコトハ出來ナイ、六十四ノ中ノ三十ヲ持ツトカ或ハ二十五ヲ持ツ
トカ云フコトニナツテ居リマス、ドウ云フ工合デサウ云フ區分ノ仕方ヲ極メ
タモノデアリマス、能ク分リマセヌガ、英吉利ニハ何カ英吉利ノ固有ノ沿
革ノ理由ノアルコトデアラウト思ヒマス、他ノ國ニハ實ハ法律上幾ラニ分ケ
ルト云フ様ナ例ハ私ノ知ツテ居ル限りニ於テハ一向無イヤウデアリマス

○名村泰藏君 日本デハサウ云フ風ノ御定メハ付ケナイ御積リデアリマス、カ
○政府委員(岡野敬次郎君) 固ヨリサウ云フコトハ法律デ極メル……法律ノ

ミナラズ命令致シテモ決シテ極メル限りデハナイノデアリマス
○子爵入江爲守君 六百八十三條ニ船舶債權者ニ優先權ヲ與ヘタノハ航海ヲ
獎勵スル爲デアリマス、其他ノ理由ガアツテ斯ウ云フ規定ヲ御設ケニナリ
マシタカ

○政府委員(梅謙次郎君) 此船舶ニ就キマシテハ特別ニ先取特權ヲ認メマシ
タト云フノハ詰リ極大キク申セバ航海獎勵ト云フコトニ歸著イタスデゴザイ
マセウガ船舶ト云フモノハ隨分價モ大キイノガ多ウシ、サウシテソレニ就テ
ハ色々ナル債權ガ生ジヤウト思フ、船ハ動クモノデアリマスカライツモ一定
ノ場所ニ居ラヌ、船ニ附テ居ル債權ガ生ジマシテモ其債權ハ普通ノ債權ト同
ジダケノ效力シカナイモノデアルト云フコトデハ船舶ニ對シテ廣イ言葉デ
申シマス、貸スル、貸スルト云フコトヲ人ガ嫌ヤガル、貸サヌト云フコ
トニナルト航海ガソレダケ伸ビヌ、ソレデハ六百八十一條ニ列舉シタル九ツ
ノ種類ノ債權ト云フモノハ皆直接又ハ間接ニ航海ニ必要ナル債權デアリマシ
テ是等ノモノハ特別ニ保護シテ船舶ニ對スル信用ヲ厚クスルノガ宜シカラウ
ト云フノデ、是等ノ規定ヲ設ケタノデアツテ各國ニ於テモ類似ノ規定ガ多ク
存シテ居ル、ソコデサウ云フ目的カラシテ茲ニ先取特權ヲ認メマシタ以上ハ
民法ニ規定シテアル所ノ他ノ先取特權ヨリモ是等ノ先取特權ヲ先ニ行ハシメ
マセヌト云フト折角先取特權ヲ與ヘテモ或ハ船舶ノ價ヲ以テ一切ノ債權ヲ皆
返濟スルコトハ出來マセヌ、從ツテ先ヅ民法ノ先取特權ガ行ハレルト云フト
六百八十條ニ掲ゲマシタ所ノ債權者ハ隨分返濟ヲ受ケナイ場合ガ往々出來テ
來ルダラウ、ソレデハ折角特別ノ場合ヲ以テ定メラレマシタル先取特權モ詰
リ其目的ヲ貫クコトガ出來ヌ様ニナリマスカソレデアノ先取特權ヨリモ此
先取特權ノ方ヲ先キニ行ハシメル方ガ穩當デアラウト云フ斯ウ云フ理由デア
リマス

○名村泰藏君 第五百八十五條デ「海員ノ雇入期限ハ一年ヲ超ユルコトヲ
得ス」此一箇年ト云フコトニ御極メニナリマシタノハドウ云フ理由デアリマ
スカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 此海員ノ雇入期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ナイ
ト極メマシタノハ其一年ト云フコトニ別段ノ標準ハアリマセヌガ隨分海員ト
云フモノハ職務ノエライモノデアリマスカ餘リ長イ間自由ヲ縛ラレルト云
フコトデハ隨分困ル場合モアリマセウカラシテ一年ヲ以テ制限トシマシタ
○名村泰藏君 第六百三十條ニ「記名ノ乗船切符ハ之ヲ他人ニ讓渡スコトヲ
得ス」トアリマス、記名ノ切符ノ讓渡ノ出來ヌノハ分ツテ居リマスガサウスル
ト無記名ノ切符ガアルヤウニ見ヘマス

○政府委員(田部芳君) 此乗船切符ト云フモノハ無記名デモ無論差支ナイト
思ヒマス、ソレハ又實際ニモ有リハシナイカト思フ、此處デハ記名ノ切符ト
云フ規定ヲ特ニ置イテ是デ無記名ヲ禁ジタト云フ趣意デハナイ

○名村泰藏君 第六百六十七條ニ報酬ヲ保險ニ付スルト云フノハドウ云フコ

トニナルノデスカ

○政府委員(岡野敬次郎君) 是ハ其利益ト云フモノト誠ニ能ク似テ居ルノデアリマス、例ヘバ甲ト云フ土地カラ乙ト云フ土地ニ目的物ヲ移ス場合ニ甲ト云フ土地ノ價格ヨリモ乙ノ土地ノ價格ガ原則トシテ高イ、ソレデ其向フニ到著スルコトニ依ッテ得ヘキ利益ヲ保險ニ付スルト云フコトハ例ヘバ貨物ヲ賣買契約ニ依テ向フニ送ル、其荷物ノ届クトキニ仲立人或ハ仲買人ガ其間ニ居ッテ其契約ガ出来レバソレニ對スル報酬即チ骨折ニ對シテ貰フコトガアル、其事ヲ爰デ報酬ヲ言フタノデアリマス

○委員長(侯爵黒田長成君) ソレデハ大體議ハ明日ノ午前十時ヨリ初メマス
午後二時五十七分散會